京城日報

十四日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金參圓七拾錢　▲郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲欄内一行金壹圓貳拾錢　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　[illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

時間表

○三線問題と後藤内相　結局一年据置か

鐵道院の大岡監督木下運輸兩局長は招きに依り十三日午後内務省を訪ひ三線連絡運賃問題に關する書類を提出すると共に意見を陳述し現下の協定運賃の繼續期限も已に今月一杯に切迫せる折柄前内閣に於て一旦召集せる各代表者の協議會を開く可きか若くは單獨に適當なる方法を執る可きか之が善後策に就きて鐵道院總裁としての指令を仰ぎたるに對し後藤内相は一應書類と倶に意見を聽取し置く可しとの事にて何等纏りたる答辯を與へず兩氏は其儘鐵道院に歸來せるが内相に於ては植民地に對して原則（距離比例制）を適用せんとするが如きは大體に於て寧ろ愚策たるを免れず三線問題は尚充分の講究を要す可しとの意見を讀りつゝあるに徵すれば結局該連絡運賃も一先づ一年据置に決す可きは推測に難からず（東京特電）

○獨潜艇墨海に據るか

過般米國近海に跳梁しつゝありし獨逸潜航艇は墨國海岸に根據地を有すとの風説あり（紐育電報）

○米國務卿の言明　對獨逸新潜航艇戰政策

華盛頓發電に依れば、米國々務卿ランシング氏はロングブランチに於て大統領ウキルソン氏と協議を重ねたる後言明して曰く米國は獨逸の新潜航艇戰に關し來るべき政策に就ては未だ決定を見ず該問題は目下尚ほ調査中にあるが大統領ウキルソン氏は獨逸潜航艇が再び攻擊をなすを防止せしめんことを力説せる多數の電報を各方面より受けつゝありと（倫敦電報）

○獨潜艇戰と米の注意

駐米獨逸大使ベルンスドルフ伯は獨逸は今後潜航艇の船舶擊沈を中止すべきも而もユー第五十三號の行爲の如きは國際法違反に非ずと云へり之に對し米國政府は獨逸の跳梁は米國の通商を妨害し人命を損するを以て一日も速かに之を中止せられたく然らざれば兩國々交上の大事を惹起すべしと注意せり（紐育電報）

○飛行機隊の獨工場襲擊

巴里來電＝佛國公報に曰く英佛飛行機四十臺は十二日夜獨逸オベンドルフのモーゼル工場を襲ひて爆彈四噸を落下し獨逸飛行機六臺を破壞せり（紐育電報）

○媾和に耳を借す莫れ　アスキス首相の演説

英國首相アスキス氏は下院に於て演説して曰く吾人は不名譽にして且つ糊塗的なる戰爭の終局を忍ぶ能はず今日徒らに敵の策する媾和に耳を借す莫れと（倫敦電報）

○會計審査局長　倉富勇三郎氏

元總督府司法部長官たりし貴族院議員倉富勇三郎氏は帝室會計審査局長に任ぜられ特に親任官待遇を賜ふと（東京特電）

○大隈侯の遊説

大隈侯は憲政會の懇望による地方遊説を快諾せりと（東京電報）

○關東都督更迭か

關東都督中村覺氏は更迭すべしとの説あり（東京電報）

○内債の發行

政府は今十月中に二千萬圓の内債を發行すべしと（東京電報）

○川村元帥觀戰

川村元帥は十四日午前四時公主嶺より觀戰の爲め來著午前中に長春に向へり（劉房子特電）

○總督親任式

後任朝鮮總督は長谷川元帥就任の事に内定せる由は本紙既報東電の如くなるが多分十六日の月曜を以て宮中に於て親任式御擧行ある可しと傳へらる

○獻穀納受式

新嘗祭獻穀受納式は十四日午前十時より總督府第二會議室に於て擧行せり、定刻に先だち獻穀耕作者は其の郡吏員警察官等護衛の下に獻穀を捧持し道郡吏員に導かれ式場に入り指定の位置に就けば總督代理たる山縣政務總監以下宇佐美内務部長官、小松總務局長代理、中村技師、澤田第一課長、有賀京畿道第一部長、商見技師等臨席の上獻米耕作者京畿道富川郡小峰源作、獻粟耕作者黃海道海州郡吳昌煥の兩氏交々獻穀を捧持し進むで中央の卓上に安置すれば政務總監恭しく之を受納して一場の挨拶をなし無事式を了つて後政務總監より參列者一同に對して茶菓の饗應ありたり、因に獻穀奉納の日時は未定なるも兩三日中には宮内省へ其の手續を履行す可しと

○度量規則成案

朝鮮現行の度量衡規則は舊韓國政府時代の制定に係るものにして今日に於ては不備不便の點尠からざるより總督府にては之れが改正の必要を感じ商工課をして改正案を作成せしめ居たるが此の程全部脱稿せるにより不日關係部局の意見を徵し參事官室の審議を經て總督に提出更に中央政府に廻附の運を見る可し

○三線問題如何

三線連絡運賃問題の前途如何に成行くべきかに付某當局の談を聞くに該運賃問題は協議の爲め關東都督府滿鐵並に朝鮮側よりも代表者東上五日傳へられし如く一木前内相整理の下に第一回會議を開きしも唯單に該問題の解決は之れを後繼内閣に引繼ぐべしと云ふのみにて何等議事に入らず物分れとなり今日まで其の儘となり居る譯なるが一方其の實施期たる十一月一日は漸次切迫し來り又内閣も能々各代表者を召集せし事とて何れ近く寺内新首相總裁の上會議開催せらるべきも上述の如く實施までに餘日なきと内閣成立後匆忙にして又斯くの如く地方に深甚の利害を有する大問題を雜作なく黑白を附せん事は新内閣人氣の維持上より云ふも避けざる可からざるべく官私鐵に有利の地位にあるも恐らく現狀維持の儘一箇年若くば半箇年を過す事とならん從つて東上中の大屋長官三木理事の歸期も不明なれど多分本月末頃なるべしと

○清會線工事　清津蒼坪間開通延期

清會線清津蒼坪間鐵道は愈々十一月一日より營業を開始する事となりたり開通式の擧行は清會線全通の曉を俟ち今回は單に試乘式を行ふに止むべしと云ふが同試乘式には京城より山縣政務總監、大屋鐵道局長官等來北する豫定なるを以て船便其の他の都合を圖りて同期日を延期し五日より三日間擧行する事となるべしと又た清會線を延長せる輸城羅南間の鐵道工事は本年内に著手すべき豫定にて既に實測其他著手準備を爲せるが明年度總督府豫算には咸鏡線第二期工事費の計上なきを以て財政上の總合より本年は著手せざる事に決定せり然し明後年の豫算編成後則ち明年内には著手するに至るべしと而して同線が愈一日營業を開始せらるゝ曉は通項洞なる停車場と埠頭との貨物連絡に就ては豫てより地方人士間に市内引込線の議唱導せられ府廳よりは數次總督府に之が施設方を上申する所ありしが市内引込線は清津港の港灣設備と相俟つて施設せらるべき問題なるを以て其間は現在の輕鐵に依るべしとの其筋の指示なりしが今回松本組輕鐵部は府と協議の上停車場埠頭間の輕鐵軌條を二十五ポンド以上のものに改設して小汽關車にて客車を運轉せしむる計畫にて目下關係當局間に交渉中なり又た來月早々營業開始の清津蒼坪間鐵道列車往復回數は當分の内一日二回の往復となり午前八時清津を發車せるもの同十時蒼坪著十一時蒼坪發午後一時歸清又た午後二時清津發は同四時蒼坪著五時蒼坪發七時歸著の事に決定せり（清津）

○秋山參事官歸省

總督府參事官秋山雅之介博士は展墓の爲め約十日間の豫定にて十四日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發郷里廣島へ歸省せり

○趙子爵鐵原行

子爵趙重應氏は十四日午前九時二十分南大門驛發列車にて鐵原に向ひ同地弓術會に臨席し十五日夕刻歸京すべし

○上田滿鐵秘書役

上田滿鐵秘書役は十四日午前八時五十分南大門驛著列車にて著京九時十分發長春に向へり

○辭令

朝鮮總督府判事　玉名友彥
補光州地方法院木浦支廳判事
同　大塚廿六
補公州地方法院清州支廳判事

○水道滯納と處分

京畿道の上水道使用者にして水道料を納付せざるもの四十四年以來約二萬口數其未收入額約一萬八千餘圓に達し居れり之が整理に關しては總督府と打合を爲したれども水道料金の滯納處分は一種の使用料に過ぎざるを以て普通の公課を滯納したる者に對するが如き強制處分を行ふこと難しとの説を爲すものあり爾來數年間滯納の儘放任し來りたるも其後滯納者數益々累加し如何ともし處置に困じ果てたる結果更に研究の末水道料も亦一種の公課と同一のものなれば滯納處分を行ふとも差支なしとの解釋を下すに至りたるを以て愈々來る十一月より整理に著手することゝなりたり然し乍ら何分六年間に亙る滯納金の督促なれば其間多大の繁雜なる手數を要す可く若し督促令狀を發したる後に於ても尚且納付せざるに於ては法規上萬止を得ず強制處分に迄及ぼす可き自然の順序となるものなれども水道部は成る可く斯の如き方法に依るを好まず示談的に圓滿に處理したしとの希望を有し居る由なれば滯納者側も此點を諒とし至急納付するに於ては相互に利益なるべし

▼炭疽疫豫防注射

京畿道利川郡内には畜牛に炭疽疫發生したるため京畿道は本月八日より十日迄第一回の豫防注射を行ひたるが更に第二回分として十八日より廿三日迄の間に注射を行ふことゝなりたり

滿洲より　大連支局報

▼油房業開始

夏季休業中の大連油房業は特產出廻り期に入りたる爲め夙々作業を開始し日商和盛利は既に操業を始め小寺油房其他二三も開業せるが既報の如く同業者の多きと内地に於ける豆粕需要の思はしからざる爲め製造を開始するも猶ほ當分採算引合はざるべく支那人油房の如き前途を悲觀して未だ作業を始めざるもの多く且油房業者の多數は今年も豆粕の生產過剩を生ずべしと憂慮し或種の方法の下に生產制限を行はんものと寄々協議中なるが一方南支那方面への豆粕輸出は漸次增進の見込ありて既にその輸出に就ての準備もなしあれば此の南支輸出にして見込通り行はれんか左のみ悲觀するにも及ばざるべし

▼高粱製紙事業

滿洲は高粱の產地にして此の高粱の利用法に關しては滿鐵中央試驗所其他に於て種々研究中なるが之を原料として製紙事業を起すの有望なることは夙に專門家及び斯業者の認め居たる所にして之が爲め花木甚太郎氏等は合資組織の滿洲製紙會社を創設せんと先般來計畫中のところ此程準備成りて會社設立登記をも濟まし本店を大連市松山臺に置き工場は目下營口牛家屯附屬地に建築中なるが機械類は來月下旬頃到著すべく之が据付を終ると共に事業を開始するは十二月過となるべし會社總資本金は十五萬圓にして高粱を原料とするパルプ及び紙類の製造販賣をなすを以て其の目的とす是亦た滿洲における新事業の一として經營宜しきを得ば前途有望なるべしと認められ居れり

平壤

▲七十七聯隊歸營　豫て黃海道沙里院方面に機動演習の爲め出動中なりし平壤步兵第七十七聯隊將校下士卒は十二日黃州に一泊十三日平壤に歸營せり▲高橋判事來壤　平壤地方法院江界支廳判事高橋修一氏は支廳判事會議列席の爲め十一日來壤旅館柳屋に投宿せり▲細田書記長歸任　平壤覆審法院書記長細田佐世吉氏は豫て鄕里奈良縣へ歸省中の處十一日歸任せり▲鐵道と自動車　平壤人車鐵道九月中乘車人員は七千六十八人にして賃金四百六十二圓四十七錢なり而して同月中自動車乘客賃金は八百六十三圓八十三錢なりと因に先月に比し乘車賃金の增加したるは旅行のシーズンに入りたると虎疫の平南地方を襲はざりしため旅客の增加に起因せるものなるべし

會寧

▲電燈計畫　會寧の電燈問題は數年前より地方有志間に於て唱導せられたる問題なりしが本春來鐵道工事師團設置に伴ふ軍營工事亦將校家族の移住等によりて頓に人口を激增したるが旅團完成の曉には人口も現在に倍すべきは必然の勢にして將に發展の機運に向ひつゝあれば電燈設備の如き最も急務なりとし本月六日居住民の重なる者は學校組合に會合し凝議の結果滿場一致を以て設立に決し委員七名を擧げ種々の調査を爲す事としたれば近く實現すべし▲地方金融狀況　會寧地方金融狀況を見るに八月頃より引續き特產物たる麻布の出廻り盛況を呈する一方奥地農產物豐穣を告げ自然地方の人氣も引立ち且つ冬季用品の需要を喚起し殊に綿糸布打綿類の賣行佳良なると一面鐵道工事及軍營工事に伴ふ物資の移動も尠なからず一般財界頗る好調を呈し資金繁忙の狀態なるが今後も貿易季節なるを以て一層資金需要を喚起すべし▲豆滿沿岸豐作　國境豆滿江沿岸地方は二三年來打續ける水害の爲め農作物不況に農民疲弊せるが本年は春來天候順調なりし爲め農作物の生育良好にして夏季に於ける旱害もさして甚だしき被害なかりし爲め例年作より豐兇の見込みなれば多年疲弊せる農家の經濟面も茲に漸く回復を得べく從つて同地方購買力の增進と共に諸物資の賣行亦良好なるを豫想し得らるに至れり

元山

▲軍人會秋季總會　在鄕軍人會元山分會にては來る十七日神嘗祭當日を卜し松興里陸軍射擊場に秋季總會を開き擊劍術、綱曳、競點射擊等の催しある筈▲繁榮會の秋季總會　元山繁榮會に於ては來る二十二日を以て秋季總會を開くべく目下準備委員吉澤、小田村、石川、松野、本岡、西田氏等に依り之れが準備をなしつゝあり▲商議代議投票問題　既報元山商業會議所代議投票問題に就き總督府に對し之れが狀況を詳細に具陳すべく過般上京總督府に出頭せる發起總代谷愛介氏は去一日歸元したるを以て翌十二日直ちに評議員諸氏を集め陳情の模樣其他報告する所ありたりと

開城

▲署長著任　新任開城警察署長警視岡本惠三郎氏は十三日午前十時五十三分汽車にて著任したるが停車場には川原警部以下署員一同並に官民有志消防組員等の出迎あり尚平壤に榮轉したる前署長齋藤警視は十五日出發赴任の筈なり▲軍隊來開　西鮮演習中なりし兵士千數百名十四日來開一泊の筈なるが市民は同隊往路宿營の際と同樣の歡待をなす計畫中▲記念展覽會　私立韓英書院に於ては十二日より十四日まで創立記念の展覽會を開く由

仁川

▲隈部部長來仁　隈部警務部長は十四日午前十時來仁防疫に關する事務打合せの上即日歸任したり▲繩叺移入熾　新穀出盛時期に入りたる仁川には昨今播州及び備後の福山等より繩叺の移入盛んなるが本年九月迄の移入高は叺六十萬枚繩六十五萬斤餘に達し本月に入ては俄然平月の三倍以上五倍に達する見込なるが價格は一枚上十八錢朝鮮物十二三錢にて繩は一把七錢七八厘なりと▲防疫會議　仁川警察署にては十四日午後一時より樓上に於て最後の防疫會議を開きたるが同會議の結果警戒線全部解除に至る可しと▲發動機新造　光田造船所にては滿洲及び忠淸南道各港に寄港すべき新航路開始の準備として五十噸發動船を製作中なり▲二汽船修繕　木浦遞信局出張所所有船光輝丸は群山出張所所有船鴨丸の二汽船は數日前入港十三日より光田造船所に於て修繕に著手したり

大邱

▲鈴木繰綿工場落成　神戶鈴木商會が十五萬圓を投じて建設したる大邱繰綿工場は工場建築全部を終り目下機械取付中なるが今月中を以て終了の豫定にして十一月早々業務開始の筈なり同工場本年繰綿量豫定は四百五十萬斤にして目下非々產地より廻送しつゝあり▲果物移出と產額　慶北道内果物主產地たる大邱、達城、漆谷、金泉、各郡に於ける本年產出豫想は苹果九萬四千百七十九箱梨二萬九百十八箱桃二萬六千四百箱葡萄四千二百七十二箱にして道外移出は苹果五萬六千四百十四箱梨一萬千八百三箱桃一萬六千二百二十四箱葡萄二千五百六十九箱なるが仕向地は釜山、京城、仁川、平壤、内地各所、上海方面、滿洲各地、露領鳥港、哈爾賓等なり▲米豆檢査成績　慶尚北道十月上旬輸移出入穀物改良組合檢査成績は玄米上格四千七百九十二叺下格七百五十三叺計五千五百四十五叺、大豆は上格一萬三百七十七叺下格二萬三百八十二叺計三萬七百五十九叺にして大豆は全部新物にして玄米は少量の新米を交へありと

人事消息

▲松寺竹雄氏（京城地方法院檢事正）　十四日午後水原へ
▲隈部親信氏（京畿道警務部長）　十四日午前仁川へ
▲筑井工學博士　十四日安東へ
▲谷井文學士　十四日平壤へ

京城學校組合告示第十三號
京城學校組合會ノ議決ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ京城學校組合規約中左ノ通改正ス
大正五年十月七日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充
京城學校組合規約第六條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ府尹ニ於テ必要アリト認ムルトキハ定員外ニ名譽職ノ書記ヲ置クコトヲ得

物品購買公告
一、繩袋　貳千個
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府内ニ於テ國稅地方費納稅者學校組合費年額貳拾圓以上納ムル者ニシテ一年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ向ハ本府會計係ニ就キ仕樣書見本等熟覽ノ上十月十六日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔當ス
大正五年拾月十五日　京城府

商業登記公告
龍山水產株式會社ハ大正五年拾月參日公告ヲ爲ス方法ヲ『京畿道管内ノ新聞紙ニ揭載スルモノトス』ト變更シタリ
同會社監査役江口又三郞、山本源吉、波多野寅植ハ任期滿了ノ處山本源吉波多野寅植ハ大正五年拾月參日重任シ且同日左記ノ者監査役ニ當選就任シタリ
京城府漢江通拾六番地　右田恒造
朝鮮銀行總裁勝田主計ハ大正五年拾月九日總裁ヲ被免其ノ缺員中政府ノ指名シタル理事水越理庸總裁ノ職務ヲ行フ
右大正五年拾月拾參日登記
京城地方法院

眼鏡
一金縁　廿二金（二匁二分）一六、〇〇　二十金（二匁）一四、〇〇　十八金（一匁七分）一一、五〇
一穴明縁無眼鏡　十八金　米國製金張　一銀赤銅　[illegible]
一米國製金張　甲三、四〇　乙二、六〇
一赤銅縁　甲一、九〇　乙一、四〇
一銀縁　甲一、一〇　乙一、〇〇
以上米國製　近視遠視老眼（白黒）御好次第　サックは上等皮製附
送料實費四十錢但振替送金の事
眼鏡寶石貴金屬商　大阪市東區北久太郎町心齋橋筋　上村重兵衛　電話本局三〇四九番　振替大阪六二六一番

赤門印　人參規那鐵葡萄酒
貧血、衰弱、疲勞、婦人病等に最適の飲料　是非御召しあがれ
發賣元　小西商店釜山倉庫
到る處有力なる藥店食料品店にあり

古錢
いろは別古錢價格表　定價廿錢送料二錢　錢圖六百餘種挿入　振替大阪一〇二〇番
發行所　大阪松屋町博物北　家村書店

□特使宮を送迎し奉るの記

哈爾賓驛頭にて 特派員 勝村長平

極東露西亞の首都哈爾賓に於ける閑院宮殿下の奉迎の設備は至り盡せるの觀あり先づ羅馬風の建築の停車場の屋上には無數の日露兩國々旗を掲揚しプラットフォームに面したる停車場の軒には階上階下共に金銀及び五彩美しきモールを張り其の間には薔薇マートル等の造花を懸け連ねフォームの三面には日露兩國の大小無數の國旗を以て蔽ひたり猶新市街より埠頭街に通ずる

□陸橋は御召列車の通過

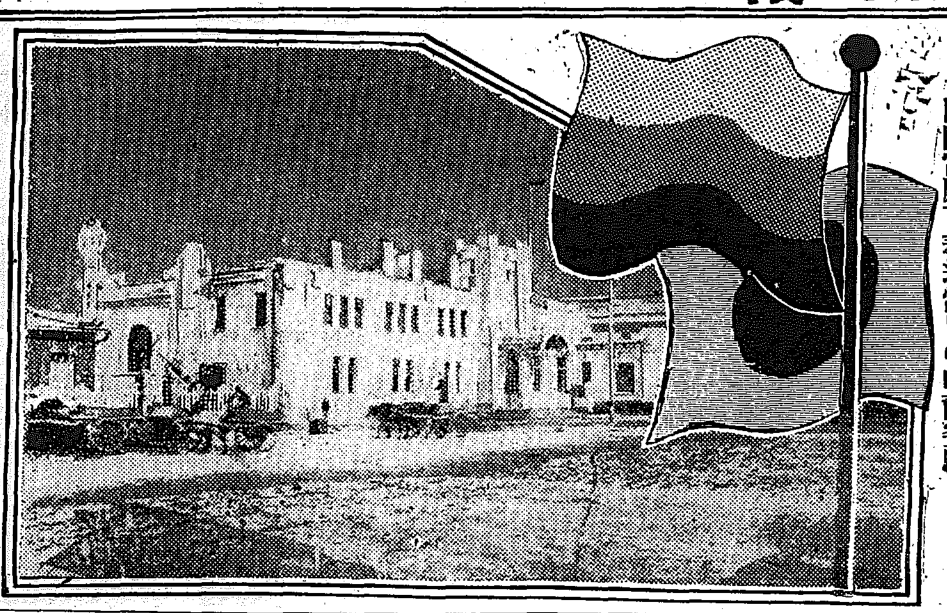
あらせらるゝ場所とて陸橋の兩側欄干にも新らしく鮮やかなる兩國々旗を幾つとなく交叉して掲げ其他露國極東總督府廳、同民政廳、東淸鐵道本社、領事館及び主なる會社商店公園等に至るまで兩國の國旗を揚げ日本居留民の凡ては何れも國旗を掲揚して奉迎の誠意を致せり十一日此の日前夜來の風強く哈爾賓名物の砂塵濛々として時に咫尺を辨せず、午前九時旅館を出で馬車を驅つて停車場に赴かんとす、殿下御著車の五十分前なり、埠頭街と停車場所在の新市街との間なる陸橋まで到れば已に無數の馬車荷馬車停滯して進むべくもなし、如何なる理由にやと尋ぬれば殿下御召列車が陸橋下を通過する一時間前より車馬は一切交通を禁止し日露人のみを限り三十分前までは徒歩にて交通するを許すとの事なり即ち直ちに馬車を乘り捨て徒足にて渡橋す橋の兩側には

□護境軍團の將校一人宛

十數名の兵士を指揮して橋の附近を警衛しつゝあり橋を渡り越して左手より橋下の有樣を見れば橋上よりも更に多數の兵士は長き劍を附けたる銃を擔ひ三名の將校之れを指揮して嚴重に警戒しあり鐵道一帶は十數歩毎に線路の兩側に一人堤防下の林の中に一人宛著劍したる銃を耀かせて蟻の這ひ入る隙間もなく嚴重に警固しつゝあり殿下を途中に送迎し奉らんとして集り來る日本の居留民をも線路の堤防下十數歩の內へは一寸も踏込む事を禁じたり停車場前は約一町許りも手前より幾線にも警衛の兵士嚴重に見張りを爲して近寄る事を得ず予は領事館よりの證明を得て僅かに驛の一隅に入る事を得たり此の重々しくして嚴そかなる御警衛は吾々日本人に限りなき滿足の感じを與へたり、此の時風は益々吹き荒れて砂塵濛々として息を繼ぐ事さへ容易ならず、プラットホームには露國極東總督及び東淸鐵道ホルワット將軍も不在にて民政長官アファナシエフ氏官民を代表して眞先きに立ち其の背後に護境軍團長、各聯隊長、露國領事等十四五人整列し其の次に日本在留民の主なる者十二三名其の次に各國領事團五名整列し其他の者は一人も入る事を許さず廣き停車場は閴として時々吹き起る沙風と旗の飜る音とを聞くのみ午前九時四十分御召列車は

□松花江の大鐵橋を越え

たりと云ふ合圖の喇叭は一丁毎に線路に立てる兵より傳へられたり時刻も寸分誤まらず殿下御召の特別列車は風を衝いて進入し來りプラットホームに著すれば警衛の護境軍團兵は一齊に捧銃す殿下は最後方の露國宮廷列車中より滿洲里まで御出迎申上げたる佐藤哈爾賓領事の御案内にてプラットフォームに降りさせ給ひ御機嫌いと麗はしく民政長官及び其他露國の文武官に御會釋を賜ひ次に各國領事團及び日本在留民一同に御會釋を賜りいと御元氣に民政長官を御相手に御話を交へさせ給ひながらプラットフォームを御散歩あり宮殿下の威嚴ある御容姿を拜し奉り露國上下おしなべて有難く滿足を表し居ると傳へらるゝ如く此時殿下の御威容は一種の耀きの如く出迎の內外人に光被す御散歩時間二十分にして殿下は再び列車に召させられ後方展望車に立たれ御見送りの人々に御會釋を賜ひ多數の露國將校兵士の警乘兵及び隨員を隨へ十時五分哈爾賓發長春に向はせらる因みに御召用特別列車は機關車に續いて三室御荷物車次に露國警乘兵、將校及び下士の乘用車次に隨行員乘用車次に食堂車次に寢室用及び御居間用車次に御寢室及び展望車より成り立ち善美を盡せりと承はる


閑院宮殿下奉迎當日の哈爾賓驛

●大河內辯護士收監さる

大河內辯護士は十四日大阪地方裁判所檢事局に拘引せられ取調べの上收監されたり犯罪の內容は辯護依賴者が被告より賄賂名義にて金千圓を取り出しその內七百圓を大河內辯護士に贈りたるを同氏は後之れを返還せしも遂に發覺せるなりと（大阪特電）

●二警官の轢死

十二日午後七時五十分京城南大門發南急行列車が新洞驛を通過して大邱に向ひたる際午前二時頃茂朱附近にて線路警戒中の尙州憲兵分隊附憲兵補助員朴寅鼎は同列車に大腿部を轢かれて無慘の卽死を遂げ同二時二十分頃達城郡達西面梨峴洞附近警戒中の大邱警察署南門派出所詰巡査補南周鉉は同一列車に觸れ後頭部を粉碎せられて卽死したり兩名共大邱虎疫豫防の爲め數晝夜不眠不休にて職務に努め疲勞の極此災禍に遭遇したるものなりと（大邱）

●行倒れは眞正

京城義州通り路傍に十二日住所不定の乞食宜聖煥（五二）といふが病氣にて打倒れ居るを警察醫檢診したるに腸炎の疑ひあるより取敢ず行旅病者として京城府にて引取り南大門通五丁目セブランス病院に收容し採便して檢鏡に附したるが患者は十三日午後同病院にて死亡し十四日午前に至り同人は眞正コレラなりしこと判明したり以前社稷洞にて死亡したるものといひ此度の乞食といひ何れも一定の住所なく市中を徘徊し各戶の塵溜箱を漁りて路傍に行倒れ居るものにて頗る危險なれば此際各戶共塵棄箱を乞食に搔き廻されざる樣警戒肝要なりと

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△短歌

○さだめよと諦めつゝも裏切れる心の奧に淚流るゝ（一等） 全羅北道井邑 紅潮

▲名も知らぬ路傍の花がしよんぼりと秋の哀れを咲き居たりけり 京城 廣安經夫

▲故鄕へかへりふたゝび子となりて親につかへん秋も深めば 龍山 三村秋月

▲大海に向ひ佇み見てあれば巳が小さき力悲しき 春川 歌路

▲わがうれひ悲しみ多きいのちただ啼けよこほろぎ月光ふるに 京城 長尾純一

●强盜捕はる

平南成川郡大邱面拔洞里李世麟（三五）同郡崇仁面居仁里孫進範（三一）李世奎（三七）の三名は七月二日夜同里李成旭方に押入り麻繩にて家人を縛し小刀を以て同人に微傷を負はせ金品を强奪して逃走したるが李世麟は憲兵より前記の强盜嫌疑を受けたるより李世旭の申出に依るものと深く之を怨み八月二十五日午後九時頃新割斧を携へて侵入し李世旭を殺し尙ほ他の家人を殺害せんとせるを騷ぎ立てられ逃走したるを此程別倉派遣所憲兵に逮捕さる

秋風肅殺、人馬肥たり

滿洲機動演習觀戰記 前記

十二日夜范家屯にて 勝村特派員

▼南北兩軍の集中運動

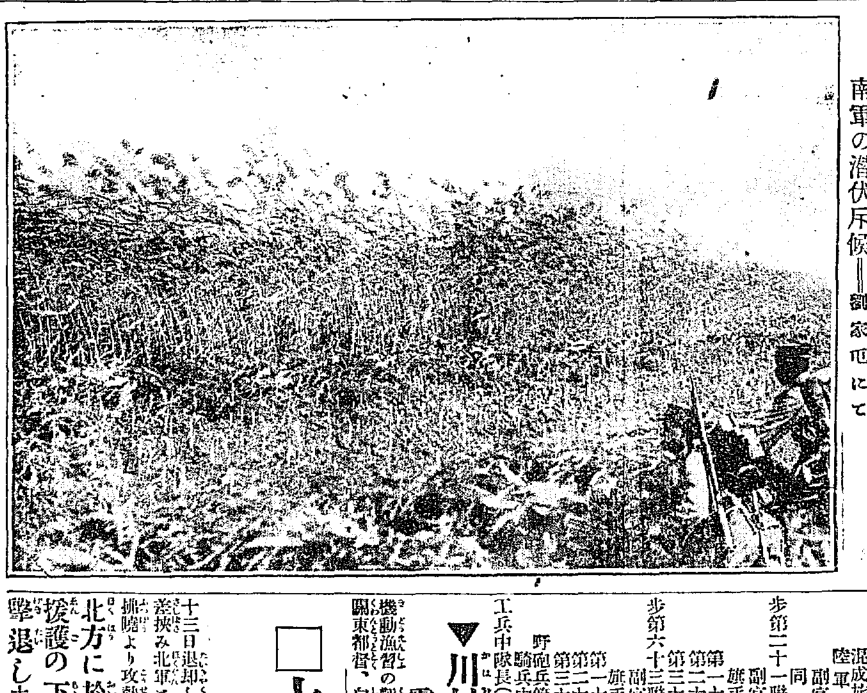
長春公主嶺間に於ける滿洲駐箚第十七師團機動演習は或る意味に於て各方面より多大の注意と興味とを以て其經過を注目せられつゝあり長春を集合地點と定めたる北軍步兵第二十一聯隊、步兵第六十三聯隊及び野砲兵第二十三聯隊の第一大隊及び騎兵第二十一聯隊の一箇中隊工兵第十七大隊の一箇中隊は七日より十一日に亙りて柳樹屯、旅順、海城、公主嶺、遼陽等より其兵力を長春に集中し南軍は其根據地たる公主嶺に步兵四十一聯隊步兵五十四聯隊野砲兵第二十三聯隊の第二大隊騎兵第二十一聯隊の一箇中隊第十七大隊の一箇中隊を八日より十一日に至る迄に奉天鐵嶺公主嶺海城遼陽等より集中し戰機の熟するを待てり

▼南軍の前進

時恰も滿洲の野は高粱其他の農作物全部收穫を終り一望千里際限を見ず蕭颯たる秋風吹いて人馬共に肥えて意氣壯なり十一日午後霖雨一過して砂塵收り行軍甚だ便なるに會し南軍は其の本隊の集中を掩護する目的を以て南滿洲鐵道線路に添ひ北進す混成一箇旅團の兵團は佐藤陸軍少將之れが司令官と成り午前六時より前進を起し二梯團となり十二日夕刻劉房子南方に野營し前進部隊たる稻垣少佐の引率する步兵一箇大隊及び騎兵若干機關銃隊及其他の部隊を率ひ本隊の展開掩護の爲范家屯驛南方の平頂山附近を占領して新開河附近に進出したる北軍の前衞部隊と相對せり

▼北軍の南下

北軍は其の本隊の集中を掩護するの目的を以て十二日拂曉長春を發して南滿洲鐵道線路に添ひて二縱隊となりて南進す其兵力は混成一箇旅團にして松浦陸軍少將司令官たり十二日午後五時南滿鐵道大屯驛西方附近に野營し其の前進部隊步兵一個大隊は線路の東方道路に沿ひて南下し大屯驛の南方平猫山に宿泊し十四日午前七時三十分同地を發して更に南進の豫定なり而して其の騎兵部隊は十三日午前七時其の宿營地たる范家屯と大屯との中間なる新開川の線を發し南進する筈なるを以て南北兩軍の第一回衝突地點は范家屯北方村落に於て行はるべしと觀測せられつゝあり


南軍の潛伏斥候—劉家屯にて

▼演習の幹部

□演習統監部

演習の幹部は左の如し

統監 陸軍中將 星野金吾

▲幕僚參謀長 步大佐 上田兵吉
參謀 步少佐 山本松雄
同 步大尉 宮澤浩
▲統監部附 步大尉 中村香吉
副官 砲大尉 鵜瀞潤
▲勤務將校 步中尉 桂朝彥
▲管理部長 砲大尉 鵜瀞潤
▲經理部長三等主計正 北郷惇槌
▲軍醫部長二等軍醫正 木村辰二
▲獸醫部長三等獸醫正 小林敬一
▲中央審判官 步少佐 栗田兵之助
▲南軍專屬審判 步中佐 永田小太郎
▲北軍專屬同 砲少佐 土方清

□南軍

混成旅團長司令官 陸軍少將 佐藤祐次
副官 步少尉 志賀又一郎
同 同中尉 上野勘一郎
步第四十一聯隊長 步大佐 神戶次郎
副官 步大尉 村尾三郎
聯隊旗手 步少尉 西田祥實
第一大隊長 少佐 宮崎生
第二大隊長 少佐 富安乙
第三大隊長（缺）（劉家屯へ派遣中）
步第五十四聯隊長 大佐 沓谷榮輔
副官 大尉 鈴木基行
旗手 少尉 田阪八十八
第一大隊長 少佐 椋田外彌
第二大隊長 少佐 石川直三郎
第三大隊長 少佐 稻垣孝照
野砲兵第二大隊長 少佐 藤本雅彥
騎兵中隊長 大尉 淺野乘右衞門
工兵中隊長 稻垣隆平

□北軍

混成旅團長 陸軍少將 松浦寬威
副官 步大尉 河野龍藏
同 步中尉 宮野源二
步第二十一聯隊長 大佐 秋月齊
副官 大尉 山崎玄治
旗手 少尉 平田正判
第一大隊（缺）天津派遣中
第二大隊長 高瀨一郎
第三大隊長 山中良輔
步第六十三聯隊長 大佐 森部靜夫
副官 大尉 千綿英一
旗手 少尉 杵村久藏
第一大隊長 少佐 宮地太郎
第二大隊長 少佐 岡屋豐三郎
第三大隊長 少佐 細木研
野砲兵第一大隊長 新井信也
騎兵中隊長 大尉 平林助太郎
工兵中隊長（代理）中尉 梶山拓郎

▼川村元帥觀戰

露支武官の從軍

機動演習の觀戰武官川村元帥、中村關東都督、白井旅順要塞司令官其他滿洲獨立守備隊各將校の外支那露國武官亦觀戰の筈にて十三日許可せられたる支那武官は北軍に配屬する者奉天二十七師張督軍部下步兵第五十四旅長孫烈臣（中將）外四名南軍に配屬奉天砲兵二十七團々長張作相（少將）外四名にして猶十三日吉林孟督軍の部下第二十三師將校參謀長高士賓以下數名も亦從軍觀戰し十三日夜より演習兵士と行動を共にし各地に於て野營實施の筈なり露國觀戰武官數名は十四日より從軍する筈なり

▼統監部劉房子進發

演習統監部は十二日午後五時に范家屯守備隊內に設置し星野統監以下の監部は夫れ〳〵指揮準備中なりし猶統監部は戰鬪進展に伴ひ十三日中に劉房子驛に進むる筈川村元帥は十三日午前公主嶺より范家屯著即日公主嶺に引返し十四日は中村都督と共に劉房子に於て觀戰の筈なり

▼從軍記者團の配屬

從軍新聞記者は矢橋滿洲日々、稻垣大阪朝日、荒川大阪毎日、高橋奉天日々、箱田長春日報、荒川遼東新報、八田川滿洲新報及び京城日報の余の八名にして統監部に屬し驛前滿鐵社宅に宿舍せり范家屯は長春の南十九哩半公主嶺、長春との殆ど中央にあり居住內地人百廿餘名と外に獨立守備隊一中隊あり內地人は滿鐵社員の他は多く穀物商人にして當地は此の附近に於ける大豆の集散地として同驛取扱ひ一箇年五萬噸以上なりと

□十四日拂曉の激戰

南軍猛進して范家屯を占領す

＝十四日午前十時本社特派員劉房子驛發電＝

十三日退却したる南軍は劉房子驛を差挾み北軍と相對して露營し十四日拂曉より攻勢に轉じ柳家口驛北方に於て砲兵機關銃援護の下に遂に北軍を擊退し十四日范家屯に宿營す

雨は昨夜中に晴れたれど演習中濃霧襲ひ來り咫尺を辨ぜず寒氣猛烈にして氣溫零下二度に下れり

◇第一衝突地點は長沼挺進隊の古戰場!!

十三日滿洲師團演習に於て第一回南北軍の衝突したる范家屯と大屯間は明治三十七八年日露戰役の際三十八年一月沙河冬營の間、我軍の左翼警戒に任じたる秋山（好古）騎兵旅團長（今の朝鮮軍司令官）が露軍の右背を攪亂せしむるの目的を以て永沼（秀文）騎兵中佐を隊長とせる挺進隊を組織したところだ當時

◇挺進隊の豫定行動

方面の地形並に敵情に關しては事實に於て不明に屬し又蒙古近傍にかける地圖の如きも頗る粗雜のものであつたから挺進隊の行動計畫は頗る不充分であつた茲に於て水沼隊長は先づ長春附近に前進して露軍の交通機關を遮斷するか若くば寬城子附近に集積してある敵の軍需品を燒却し更に窃かに哈爾賓、齊々哈爾間に現はれ鐵道電信の破壞及び

◇列車の顚覆を試み

んと立案した、一月九日挺進隊は蘇麻堡を出發途中哈拉街に於て馬隊二百騎を編入し酷烈なる寒氣と幾多の困難と戰ひ一月三十一日タオンジーに達し其地を根據として新開川附近を偵察し更に前進し二月十日拉々屯に著したる上偵察を爲し新開川鐵橋を破壞する事に決し同夜劉家屯村落に宿營し翌二月十一日紀元節の正午に宿營地を出發し夜半二時卅分

◇新開川鐵橋の西南

約五千米突の村落に牛馬を殘置し豫定の部署を以て前進す時に上弦の月全く沒し四面闇として聲なく凄愴の氣人に迫る九箇條より成る規定と部署とに由り前進中列車の北行するを認め線路の方向鐵道線の位置を考察するに多大の便を得尙前進中鐵道を距る五六百米突に到るや敵の斥候兵其の前面を橫過するに遇ひ遂に砲火を開くの已むなきに至る。此時四面石壁の

◇監視家屋に據る敵

軍は銃眼より猛烈に射擊した挺進隊の掩護隊は直ちに散開し之れに應じ同時に左翼部隊は前面の監視家屋を占領せんと前進し一方作業班は何面の氷上を進行敵彈雨注の下に在つて裝藥し前後三回の爆破を爲し遂に之を破壞し斯くして挺進隊は整然として豫定の退却をなし三月十八日

◇奉天の本隊に合し

た此の行動は啻に露軍に恐怖を感せしめしのみならず戰鬪部隊の兵力を背後連絡線の守備兵に增大し且つ露將をして全然狀况の判斷を誤らしめ遠く蒙古方面に迄多數の部隊を派遣したる如き其効絕大であつた此の時騎兵中尉田村馬造及び騎兵上等兵望月康二の二勇士衆に先じて進み

◇遂に勇敢なる戰死

を遂げた露將又其の忠勇に感じ一碑を建てゝ厚く弔る忠魂碑范家屯の驛前に在る忠魂碑は大島大將の篆額碑文は當時の南滿鐵道總裁後藤新平氏の撰並に書に係る新開川は范家屯驛を北に距る三哩の地にあり當時の敵の監視家屋には彈丸の跡蜂の巢の如く今も遺てる此戰跡なる新開川に於て演習第一回の衝突ありしは亦何等かの因緣であらう（劉房子にて勝村特派員發）

●圖々しい行商人 京城本町三丁目居力丸權次（三八）は同町播磨某方よ……不定の俳優門田吾市（三八）元町二丁目升谷力仟（三五）外一名と現金を賭して……なる者に怨みを抱き復讐の目的にて同人が夜中侵入し來りて昹めんとし……訴を申立てたり

●猩紅熱 龍山漢江通十三番地張木……

七、堺非弘、外人石名 二等 西岡康太郎……

讀者文藝課題及び募集規程

■募集規程 ▲用紙は端書又は洋紙一枚毎に紙上の雅號又は……外に住所、名前記……

天氣 曇り但少雨 十月十五日

無鑑札にて各所を行商し借受けたる衣類七點(三十圓)を十七圓に入質し之を資本として九月二十二日龍山彌生町武田質(三五)方にて武田及び住所[illegible]兵に踏込まれ何れも引致せられ取調べの上檢事局へ送られたり

◉誣告罪の控訴 平南徳川郡徳安面鄕上里洪來秀(二六)は同里の金龍珠[illegible]て一家を燒き拂はんとしたりと事實無根の告訴をなしたる事發覺し徳川支廳に於て誣告罪に依り懲役一月を言渡されたるが同人は之に服せず控[illegible]訴をなしたり

◉連絡船上陸客 十三日朝釜山入港壹岐丸(二三等客)一等 中野二郎、蔭山喜多三、岡秀子、岡井好[illegible]

◉李朝太祖の臍胎を安置した大石櫃

▼―黄金の壺と寶玉の遺物▼―一と握りの褐色の土塊▼―百貫以上の蓋石▼―大仕掛の犯罪▼―犯人は内地人か

今を去る三百年の昔李朝太祖の臍胎を納めて移奉せりと稱する胎封山麓の一大石櫃は韓土の史蹟に顯著なる事實にあるが去る十月二日の夜何者か此の石櫃を發掘して遺物を竊取し去つた事は既報の通りである此の胎封山は全羅北道錦山郡秋富面馬田里にあつて忠南全北兩道を界してゐる有名な山であるが石櫃は大田郡山内面上所里を去る南方約一里の所にあるさて此の

◆有名な碑石 の下には太祖の臍胎と共に如何なる金銀寶玉が納めてあるか口碑の傳へる所に依ると太祖の臍胎は黄金作りの壺の中に納めてそして嚴重な石櫃に安置してあると噂に聞くだけでも其黄金作りの壺が如何に高貴な物であるかを想像する事が出來る況んや慾に目のない者に至つては必ずそこに萬金に價ひする珍寶珠玉の葬つてあると信ぜずにはゐられまい處があけて口惜しき玉手箱で其犯罪の跡を見ると

◆黄金の壺は 一個の甕で他に寶玉の遺物が在つた形跡もなく李朝始まつて既に五百年其太祖の臍胎とも覺しきは僅かに麻布か木綿の如き物の腐化した斷片と一握の土塊が褐色を帶びて甕の中に在つた許りであるが果して此以外には何物も無かつたのであらうか、それは犯人の逮捕を俟つて取調べた上でないと判明しない其の發掘された納甕の蓋の表面には維大歲癸酉、甲寅朔辛酉、日時入安の

◆文字が朱書 されて今尚明かに奉安當時の月日時刻迄讀み得る事が出來るがどうして此の堅牢な石櫃を發掘したか碑石の下には巨大な蓋石が二ツもあつた其下が更に堅牢な石櫃となつて居る而も其石の重量は一枚で百貫以上もあると云ふからトテも並大抵の事では掘れそうにない處を見ると犯人は決して三人や四人でなく頗る大仕掛けだ多勢の仕事らしい勿論金挺や鶴嘴を以て發掘したもので石材の角にはそれが爲め破損した形跡が幾らもあるとの事である、尚ほ附近には

◆白蠟の點火 した蠟片があるのから見ると乾度夜間の仕事で周圍の事情を判斷すると約四五時間位ひは費やしてゐるものらしい殊に不思議なのは現場に雜誌婦人世界の紙片が一枚落ちてゐたと云ふ事で或ひは大膽な此犯人は内地人ではないかと推想さるゝ節がある何れにしても大膽不敵の犯人である(大田)

◉盛なる入佛式

元山法秀寺の落成

元山法秀寺に於ては過般本堂及び庫院建築落成の處道和大本山より御本尊釋迦如來並びに宗祖の尊像到着せしに付き來る十七十八日の兩日正午より盛大なる入佛式を擧行すべしと猶ほ當日は祝陵開堂式を執行夜間は忽滑谷快天老師及び高田顯哉老師の說教あり其の順序左の如し

▲十六日 夜七時より忽滑谷老師學講演會
▲十七日 午前十時元山停車場より御本尊佛奉迎▲正午より點眼式、祝國開堂式、讀齋▲午後七時より大般若會忽滑谷老師說教
▲十八日 午後一時より法戰、本尊回向、祝齋▲午後七時より大施餓鬼會高田老師說教

◉露領事館抽籤會 露國領事館にては負傷兵慰問寄附金を得ん爲め來る十八日(水曜日)午後四時より抽籤會を催し露國人製作にかゝる諸種の物品を提供する由なるが會費は金五十錢にして一般公衆の來會を希望し入會者には茶菓の饗應ある筈

◉謠曲秋期大會 京城寶生會支部に於ては十七日午前九時より[illegible]町松葉樓に於て開催番組次の如し
▲素謠○鞍馬天狗(宇方吉岡氏山名氏寺内氏)○關原與市(宇野令嬢秋田令嬢伊藤令嬢我令嬢)○小原御幸(法皇三宅夫人局伊藤令嬢内侍秋田夫人阿波内侍我夫人村尾夫人)○邯鄲(川北氏曾我氏小松氏吉賀氏)○紅葉狩(坂本氏國分氏永島氏)▲獨吟○箙の段(大島氏)○三井寺(大野氏)○烏追船(淺田氏)○班女(末永氏)▲囃子○鵜飼(友枝氏島田氏島田夫人新美氏)▲仕舞謡政(宇野令嬢)○俊成忠度(鈴木令嬢)○葛城(曾我令嬢)○熊野(秋田氏)○船辨慶(三宅氏)○杜若(白島氏松川氏加藤夫人末永氏新美氏)○融(楠木氏)○藤戸(中川氏)○松虫(村尾氏村上氏村上夫人新美氏附祝言)

―△會のいろ〳〵▽―

○京城高等女學校學藝會 同校にては十四日午前九時より學藝會を開催す
○旭琴會演奏會 筑前琵琶旭琴會三週年記念演奏會は十四日午後六時より旭町三丁目韓國寺に於て開催

神社とお寺と教會

○メソヂスト教會(南大門通) 十五日午後二時より聽拜說教『旅程のエス』藤岡牧師、午後八時より旭町二丁目牧師舘にて傳道說教『基督教とは何ぞや』藤岡牧師
○國柱會京城局(初音町) 十五日午後七時より定例修行に次で伊東講師の法話あり
○龍山日本基督教會(漢江通) 十五日午前八時半より日曜學校、同十時禮拜說教コルテス宣教師、午後七時半傳道說教[illegible]
○日本基督教會(長谷川町) 十五日午前九時より日曜學校、同午前十時及び午後七時半より[illegible]說教[illegible]
○西本願寺(若草町) 十五日午後七時半より日曜講演ありて弘中氏の講話あり尚ほ柴原氏の[illegible]
○東本願寺(南山町) 十四日午後一時より[illegible]十五日午前十時より御命日の說教午後七時より信友會の說教あり
○開教院(本町三) 十四日午後一時より觀水洞布教所に於て說教あり尚ほ十五日午前九時より日曜學校午後七時より日曜說教あり
○妙心寺(長沙洞) 十五日午前九時より無盡燈論の提唱あり
○天理教(古市町) 十四日午後一時より秋季大祭を執行
○曹谿寺(大和町) 十四日午後七時より忽滑谷氏の講話ある由

書畫骨董入札 南山町三佐々木聚古堂電三三三 ▼十四日下見十五日午前開札

◉『朝鮮及滿洲』臨時號發行 京城朝鮮雜誌社發行の『朝鮮及び滿洲』十月一日號(百十一號)はその筋より發賣頒布を禁止されたるを以つて十月十五日臨時號として第百十二號を發行せり

◇新しい秋の裝ひ

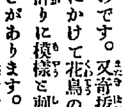
◇流行のコート 羽織地 外出著の著物や帶が秋の裝に變つて參りますと、上に羽織る羽織やコートの新しい柄も眼に付く樣になります。

▽羽織 ではやはり地色の織かなお召類が喜ばれて居りますが、其中でも上品向き意氣向きを通じて廣く受けるのは八雲金紗の二十圓前後、縞御召の十八圓内外、三佐保お召の二十圓前後、紋紗お召の十七八圓内外の處で、コートは今年も矢張り半コートが流行して若向き年增向きを通じて

▽新奇 な柄が出て參りました。地質は錦紗縮緬紋お召、大島などで相生お召の黑地に共の飛び紋を散らし、これに赤の格子を大きく出したものなどは二十前後向きとして優秀なものです。又奇抜な向きには裾より裾にかけて花鳥の刺繍を配ひ、又は裾許りに模樣と刺繍を加味したものなどがあります。そして裏地は羽織もコートも羽二重地の絞りが一番歡迎されて居ります。

梅干入の握飯

時節柄コレラ豫防の一策として小學生に梅干入の握り飯を食べさせることにするのも一方法である、梅干入の握り飯は一寸食べ口がわるいので最初なれぬ間は毛嫌ひをする者があるが我慢して食べてゐると習慣になつて返つて他の御馳走より遙に食べ力があると好くやうになる、而してこの梅干入の握り飯を食てゐると咽の渇もうすく胃の消化もよくてあまり湯茶を望しがらぬやうになる、節儉其他の修身上のたすけにもなつて大變よろしい。



□ビーフカレー 玉葱の細かくたゝきたるものをフライパンにバタを交とかしたる中に入れていためカレー粉と麥粉とを入れて手早くかきまぜ牛肉の三四分角に切りたるを入れてかきまぜスープを少しさして十五分間程たき鹽胡椒にてあじをつけて飯と共に盛る(青木はつ子)

商況

公債直取引 (東京)

十四日出値段(前日との比較)

五分利特別	九八、一〇
五分利甲號	[illegible]
四分利	[illegible]

深川在米特電

十四日現在高	
朝鮮米	七三、一一〇
臺灣米	七二、一〇〇
内地米	九七、九〇〇

債券現物特電 (東京)

十四日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	一七、〇〇八
京城電氣	九三、二五〇
朝鮮銀行	二六、〇九
朝鮮瓦斯	一二五、三
南滿鐵道	一三六、〇〇

東京期米特電

十四日前場	十二月限
寄付	四五、五六
高値	四六、三六
安値	四五、五三
止め	四六、五六

大阪株式特電

十三日後場(類 / 拂込額)

銘柄	後場
宇治川水電	[illegible]
新神戸電鐵	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]
和歌山瓦斯	[illegible]
大阪商船	[illegible]
日本郵船	[illegible]
大阪鐵工	[illegible]
東洋紡績	[illegible]
大日本麥酒	[illegible]
大阪株式	[illegible]

大阪三品特電

十三日後場

十月限	一六四、八〇
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
三月限	[illegible]

大阪期米特電

十四日前場		
寄付	一四、四〇〇	[illegible]
高値	一四、六〇〇	[illegible]
安値	四八九	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

十四日前場	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

◉平均三四割高 [illegible]

◉毛織物高し [illegible]

◉一圓二十錢處 [illegible]

◉馬尾 [illegible]

◉染料は氣丈 [illegible]

◉鹽鯖産地高 [illegible]

◉石油値上げ 石油は[illegible]

◉五錢の値上 [illegible]

◉上げ眼先更に一段の値上 [illegible]

◉輕油 [illegible]

◉綿布色物好況 [illegible]

◉一層增加 [illegible]

◉六十五錢見當 [illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は居据り[illegible]

各地商況

▲朝鮮一等白米(當用)十五圓四十錢
▲同 十五圓五十錢
▲同新一等白米(當用)十五圓六十錢
▲釜山新秋大豆 十一圓二十錢
▲太田新大豆 十一圓二十錢
▲沃川新大豆(現日) 十一圓二十錢
▲長湍新大豆(地口) 十一圓四十錢

京城正米

○木浦(十二日の穀物)[illegible]

南大門の廻穀

鳥山玄米	二八叺	鳥川粳 二八叺
水原籾	四〇叺	烏致院籾 一七五叺
平澤玄米	三〇叺	鎭川小豆 一八叺
鳥山玄米	二八叺	水原白米 六六叺
鳥山白米	二八叺	水原大豆 七四叺
金里院緑豆	二七叺	金村籾 一九叺
		水原白米 三〇叺

仁川現物市場

[illegible]

仲買店 (利)

仁川米豆取引所仲買人 [illegible] 電話[illegible]

釜山市場 十三日

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲十四日前場 [illegible]

大阪天候曇天

前寄十四圓八十九錢と昨止より六錢安の入電一節同事の移[illegible]

三錢安

[illegible]

仲買店 (日)

仁川米豆取引所仲買人 支配人 土居勝 電二八二番園二八三番

市場零聞

▲更に新安値 [illegible]
▲新米の安氣配 [illegible]
▲人氣は依然賣 [illegible]
▲無碍に崩 [illegible]
▲前場の手振 [illegible]

仁川米豆取引所

十四日の十一月限

前場

寄付	十一圓七十六錢
止め	十一圓七十五錢
高値	十一圓七十六錢
安値	十一圓七十三錢
出來高	一萬三千石

平均値段

一節	十一圓七十四錢
二節	十一圓七十五錢
三節	十一圓七十五錢
四節	十一圓七十六錢
五節	十一圓七十六錢

賣買取組高

十月限	六千四百五十石	前日と比較
十一月限	七萬四千五百十石	三安
十二月限	四萬三千七百五十石	四安
三限		三安

▲內地米と輸出 [illegible]
▲日先小相場乎 [illegible]
▲尚七十錢內外の上 [illegible]
▲更に新安値に雪崩 [illegible]
▲市場閑散 [illegible]
▲⊕の利喰買 [illegible]
▲Ⓡ能く買ふ [illegible]
▲全能く賣る [illegible]
▲㋑能く賣る [illegible]

田中 金[illegible] 電話[illegible]

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話[illegible]

◉豫報 [illegible]

山田醫院 本町二丁目 電話二八八〇番 内科 小兒科 花柳病 眼科 呼吸器病 胃腸病 專門 山田萬作 (入院隨時) 尾形周太郎

M印 品質本位 ミマツ 大阪唐物町四丁目田飯店

寫眞 新築開業 半額 向一週間撮影仕候 京城旭町二丁目 河原寫眞館 電話二九八一番

芳香 ひぜん水 本家 田知本和三郎謹製 大阪市西區新町通二丁目 振替大阪二八〇八番 特約店京城南大門通二丁目新井藥房

青酸加里 水銀 新荷著 保税品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五〇・二七七四 振替京城二五六

産婦人科 本院 京城旭町一丁目 電話一二三四〇番 診察午前 分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午後 中央婦人病院 院主 衣笠茂

八木田博士 島田博士御處方 御鑑査 強胃消化錠 最新式糖衣錠劑 本劑の特色 アナタの胃病はマーゲンで治る 大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

熱心誠實に事務を取扱ふ 辯護士 從五位 堀池常作 事務所 大邱府南龍岡町

吉田學明 人事百般鑑定需應す 鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓 鑑定時間 自午前九時至午後十時 大日本陰陽學會朝鮮支部 京城本町三丁目

男女共に適する新職業 帝國健全哲學館大學教授科目中の哲理治療法一ケ月速成教授を爲す ◎商尚にして社會に有益なる新職業を要望せらるゝ士女は來れ ◎卒業生には本大學と同資格を授く規則入用の者は端書にて申込め 釜山府大廳町一丁目三十番地 帝國健全哲學館大學分館 朝鮮健全哲學館 館長 哲學士 江藤旭洲

◉疾病の撲滅惡癖の矯正 ◉本館所設の學理を保證のため一般病者の治療を爲す ◉諸藥効なく祈禱禁厭も驗しなき難病患者は來れ ◉飮酒喫煙其他一切の惡癖に苦しむ者は來れ ◉遠隔の地にして直接治療を受け難きものに對しては遠隔治療を爲す

新柄冬物大賣出し 十月十四日より三日間 京城永樂町二丁目 永昇呉服店 電話六八二番

皮より強い値の安い 柳製專賣品鞄 △二枚續き毛布 △ふとんわた △魔法瓶中瓶取替 鞄製造販賣 旅行用具一切 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番 長さ 二尺 二尺二寸 二尺四寸

日本一の 鬼足袋 見て優美!!! 穿いて滿足 強くて温かい オニタビ 販賣御希望の方は御照會なさい 見本一足 金四拾錢 (郵券不苦) 東京市日本橋區小傳馬町 寺田淳平商店 電話 浪花二〇〇四番 二〇一番 振替口座東京八三六七番

京城溫度 [illegible]

節	秋分
入梅	[illegible]
半夏生	[illegible]
二百十日	[illegible]
彼岸	[illegible]
社日	[illegible]

九百十六年(丙辰のひのえ) 時[illegible]

宮本武藏

第百八十七回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

宮本二天は鐵右衞門の頭を望んで打込むかと思ふと、傍に脱ぎ捨あつた彼が衣類をハッシと打つと、不思議や立て居る鐵右衞門の眉間より血が流れてアッと言ふと、其儘仆れた二天は汝と云つて二度目に打据ゑやうといたす時に彼奴は身を起して、逃出す二天の袖下を潜りバラ〳〵と、逃出す。二天は『汝逃げやうとて遁しはせぬ』と追蒐けて參つたが、鐵右

衞門は一生懸命に逃げ出して橋の中央へ來ると、欄杆へ片足をかけてザブーリ川中へ飛込んでしまつた、二天は欄杆に手を掛けて水面を睨で居りましたが、其儘彼奴は姿を見せません、水底を潜つて何れへ逃げたものであるか其の行衞定かならず、曉『其處へ來て 曉『コレ〳〵二天逃げたら脱してしまふ方が宜しい、惡いといふ目に遇つた上はもう此の近邊には立廻るまい』二『ハテ憎ひ奴でございます、天下副將軍の御膝元を憚らず斯ることをいたして衆人の目を眩くとは不屆な奴で』曉『お前が彼奴の頭を打つかと思つたら衣類を打ちなすつた、スルと彼奴が眉間を破られ其場へ仆れたが、判らんことがあるものだな、あれは何うしたのである』二『左樣でございます、彼は飯綱遣ひでございます、總て飯綱遣ひと云ふものは己れが體を傍に隱して人の目を眩ますと承はりました、既に越後國春日山の主上杉謙信の許に信州川中島の住人矢取但馬といふ者が召抱になりまして、此の者は飯綱遣ひであつて、或日春日山城中の詰所で自慢話しをして居ると、傍に聞いて居た直江大和守が、其方自慢を申すが俺が腰の刀が取れるかと云ふと、矢取但馬といふ者が無雜作に取ますと答へて、其の場へ鼠を出して大和守の腰の刀を奪い取つたといふ、是を謙信聞いて但馬を招び、其方子が射掛ける矢を美事取つて見よと仰せの時、但馬畏つて素裸體となり馬場に出で大手を擴げて立上つた時に、謙信弓に矢番へ彼が衣類をハッシと射れば、不思議にも立つて居た矢取但馬は胸元より脊筋へかけて射貫れて、其儘仆れた、時に謙信は傍の家來に對ひ、其方共は但馬を望んで矢を射かける故取られてしまふ、總て飯綱遣ひは己が身體を衣類に隱して業をするものであるから、それゆゑに衣類を射止めたのである、恐くは此奴は甲州の間者であらうと云つたが、果して此の矢取但馬は甲州より廻し者であつたといふ、恁ういふ話しを手前聞いて居りましたから、乃で衣類を打据ゑましたので、スルと果して彼奴は本體を現はしました』曉『成程、然ういふ譯で衣類を打つたのであるか、お前は劍術ばかりでない其の心得と云ひ感心をいたした』二『イヤ恐入りました』と云つた此時に見物はワッと云つて賞めまする中に一人が其處へ飛込んで鐵右衞門の取り貯た錢を摑で持つて行くと、我も彼もと各々に其處へ飛込んで來て錢を持つて行く、跡の奴はもう錢が無いから大槌才槌を持つて行つてしまつた、是が爲に鐵右衞門の店はメチャ〳〵になつてしまう、聞いものでございます、磯曉雲二天の兩人は此處を立て其の夜は水戸の上市へ泊りまするが、磯濱の漁師の許へ參つて鰹魚漁があるといふことを聞き漁船に乘せて貰ひ此の鰹魚漁を見物に出懸けました、兩人は小舟に乘つて沖に出て見ると、成程漁船は澤山出て居りまして鰹魚を釣上げまする、此の鰹魚を釣まするのに餌は何を遣ふかと云ふと、牛の角を遣ふさうでございます、何ういふ譯で鰹魚を釣る餌は牛の角を用ゐるかと聞いて見ると、頼朝公が石橋山の戰ひに敗れて上總に渡つて海岸へ來ると、鰹魚が飛び付いた、それは頼朝公の帶して居た刀の鍔が牛の角であつた、然て見ると鰹魚と云ふものは牛の角を好むものと見ゐると以來是を餌に用ゐるといふことを彼の邊の漁夫が話しをいたします、偖兩人は終日酒を飲みながら此の鰹魚釣を見物いたして其の夜は漁夫の家に泊り翌日此處を立つて下總の銚子へ參りまする

外科 一般 皮膚科 花柳病科 泌尿器科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

明治町ヤソ教會前 岡村介石易斷本部
新龍山郵便局前 岡村介石易斷支部

十月十六日九星
舊九月二十日丙戌
本命二黑坤赴佛滅

▲二黑● 梗のきかぬ事有日新事見合 南方は吉階 ▲三碧● 取柄なき斷多き日新事手控 舊事は吉 紹介の表書等を探す▲四緑● ふと欺さるゝ事有日注意新事手控改事は吉 女子は一層用心の事▲五黄● 他の爲を計て迷惑せんとす新事手控 舊事農業は妨なし▲六白● 祝福の日轉居入學金件名弘出漁建築婚禮に若く事萬吉▲七赤● 好況の日轉居開業行商名弘命件求職組合工事請負等萬吉▲八白● 物の事勵を意味する日新事手控舊事は吉貸借の口入等せぬがよし▲九紫● 強力の日轉居行商入學名弘建築金談婚禮等進業等萬吉物に勝の日▲一白● 一寸胡麗化さるゝ事有日新事手控舊事は吉 新取引は用心せらるべし

演藝案内

明治町 電話二六〇 浪花館
◉東都女流浪界の大關 桃中軒桃子改め日の本三都子嬢來る
○いよ〳〵十月十四日より 毎夜讀物▲堀部安兵衞生立(武雄)▲學生失敗(桃右衞門)▲長洲萩の夜嵐(神田伯猿)▲毛利小平太妻子別れ▲木村重成勘忍袋(日の本三都子)
○毎夜正六時半開演仕可候

京城壽町 電話五七八番 壽座
十五日の狂言 前 天保水滸傳 嵐山花五郎
中 艶姿女舞衣 酒やの段
切 瓊獨仙歟軍記 一の谷より陣やまで
おその(片岡我左衞門)ヽ清三郎、長太郎(一の谷嫩軍記)ヽ〳〵〳〵 [illegible]
玉織姫・藤の方(中村粂之助)、熊谷(片岡九十郎)ヽ源治(牛兵衞)ヽ敦盛・宗清(ゆきこ三郎、中勝)
村上十郎(仙太)、平山武者所(片岡九十郎)、宗治(嵐山花五郎)、柳盛(市川小文治)(浅尾勝太郎)、梶原(熊谷直實)(市川市十郎)

いよ〳〵今晩より
女流浪界之大關 桃中軒桃子改め
日の本三都子出演
今晩の讀物 木村重成勘忍袋
浪花館

櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○十月十日より秋季特別大興行
○同 △米國アメリカンフヰルム會社傑作 ○活劇鐵窓○滑稽 [illegible]
○活劇第一彈 全二卷
△日活向島社特作 實錄忠臣藏 全十二卷通し
[illegible]
○餘興 少女浪花節『義士銘々傳』
[illegible]
名に限り記念品を贈呈仕候

御成町 電話一一九一 御成座
四日目狂言
前狂言 伊賀越道中双六
大序より幸兵衞住家迄
切狂言 艶姿女舞衣 三勝半七酒屋段
百姓平作・幸兵衞・作兵衞(片岡我當)女房お谷・相丁長松(嵐璃二郎)下男安平・[illegible]
[illegible]
△一等四十錢二等三十錢三等十錢 子供半額

連日滿員御禮
大好評沸くが如し
實錄 忠臣藏と
餘興 少女浪花節
先客五百名樣に記念品贈呈
大正館

日本活動寫眞株式會社特約
本町一丁目 電話二六六 有樂館
十月十二日より特別大興行
△英國皇帝陛下水晶宮行幸 △滑稽泥棒廣告屋 ○新派身代り [illegible]
△伊太利アンブロジオ會社大傑作 佛國文豪エ [illegible]
○大冒險奇譚 猿ケ島 全十卷(原名ファントム[illegible])
[illegible]
△武門の意氣 松平外記 全四卷 百五十場
[illegible]

京城壽町 電話一〇五〇 壽館
●京山岳風一行(二年目の御目見得)
◉十五日初日讀物
▲人の心(桃中軒雲濤)▲最上義忠錄
▲義士傳(京山一雄)▲三國一敵井玄意
▲商等美術▲大岡政談鍵屋騷動長講三席(京山岳風)

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
Mカシー商會 朝鮮一手代理店
電話 一八五二(階上) 二六三七(階下) 黃金館
十月十一日より 番替 [illegible]
▲實寫コメディー十八番の出しもの
▲實錄忍術太郎 全三卷
▲探偵活劇アルデンの寶石 [illegible]
▲新派悲劇女の鑑鑑 全三卷
[illegible]

刺繡實物通信教授
手本及び繡方分解標本は實物刺繡を用ひ每號講義錄に添附(往復端書申込規則送)東京市澁谷拾白井錦繡會

淋菌さへ殺せば……
りん病は
▼忽ち全治す
──諸博士實驗證明──
▼十年間の苦心 研究に依り愈百發百中の確効あるを認め今回公に發表せる自宅用加熱治療器は理學的作用により短時間内に尿道内の淋菌を悉く滅殺し輕きは一二日にして全癒し再發の憂更になしいくら藥を服んでも醫者に懸ても
▼根治せぬ人は東京市麻布區笄町一八〇日本病理研究所宛新聞名記入ハガキにて申込まれよ説明書及全治者實驗報告書無代送呈す

月やく
なきに御困りの方は郵券三錢封入左に御照會あれ藥妙知らす
京城黃金町三丁目 山田志づゑ

高尚で美しい
クラブ白粉
のお化粧は今や
御婦人間の日常禮法の一と成ました

汽車
[illegible]

京城日報 第三版

十五日朝刊 夕刊と合せて十二頁

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金六十五錢
廣告料 ▲普通活字一行金六十錢 ▲五號活字一行金五十錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話番號 編輯局三四五番 營業局三六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

▲十四日後場 十四圓八十七錢 東京十四圓六十七錢 大阪前止十四圓九十一錢 後場九十錢に入逆にて當地は十二圓六十錢中十二圓四十四錢より三十八錢と押し九錢引先十一圓七十八錢と三錢高に寄付たるも買物多く折柄大阪五節八十三錢が押目は一寸見合より買物多く五錢と返したるも更に一錢と新安値に崩れ二錢と飯合を告げたり市況は警戒し居る秋革の大阪の不勢を受けて遂に買り進め來りたる者の如き振り合であつたが相場も今後の成行や如何

▲全能く賣る 後場同店より賣りたる玉數三千俵ありたる六百石の買ありたるに上りたりとの事一面に市場の注目を惹いたりも引續いての賣りにて市場の注目を惹いたり

▲日曜明け如何 後場小堅く寄付たるも大阪の跡安を受けて軟調なる賣人氣は恐らく市場に現はれ遂に十一圓七十一錢と更に新安値を現出したる等如何にも軟弱の成行を示し居れり併し一面に

平均値段 三節 四節
出來高

京城論壇

朝鮮教育機關の普及

京城私立中央學校長 柳瑾

今日の所謂新教育と昔日の寺小屋式教育とは全然北轅にもたらぬ差異あることは今更申す迄もない。各國政府當局に於て教育行政の方針を確立して、其人民の智徳を啓發し、國家の富強を計る基礎的の機關として居ることは決して一の理論ではない。東西を問はず文野の差異は教育の普及と其發達如何に依りて衡量するのであることは識者の異論のないところである。故に余は新教育の素養なき國民は時代の落伍者にして處世上安全幸福なる生存は許されないものと思ふ。然るに朝鮮人中には今尚往々にして教育上新舊の差異はあつても人間生存上に妨げはないといふ樣な固陋の言をなすものがあるが之れらは、現代世界の大勢に通せないのみならず、生存の意義を解せない管見者の説にして今更辯駁する價値もなき說と思ふ。野味なるものは野味なる生活に甘じ、如何に至便至利な文明の利器も恰も彼等は寒中の氷屑位に視て居るのは文明人の文明的生活の内容を知らないのに職由するものである。今や朝鮮も總督府の教育的施設漸く整頓に近き全道各郡には庶民教育機關として普通學校の設立あり、京城及び其他都會地には職業教育機關として各種の専門學校あり尚又各地に多數の私立學校を見るに至りしは誠に慶賀すべき次第である。猶ほ近來は前述の如き近視眼者流を除くの外漸く時代の趨勢を知り新教育の必要を説き、現在の學校數にては少しとして増設の必要を唱ふるものがある樣である。是は固より當然の次第であつて總督府當局者も現在の學校丈にては到底多くの子弟を收容することは不可能である事を認めて年々豫算其他事情の許す範圍内に於て増設に力めて居るのであるから年と共に益々増加すべきであるが、將來に於ては少なくとも各面に一個位の普通學校を設置するに至らんことを希望するのである。兎に角普通學校程度の教育は朝鮮人に對する義務教育として一日も早く普及の目的を計らねばならぬと思ふ。併し倚ら限りある國庫の財源を以て全道の各面に普通學校を行渡らしむることは、急には望み難い所であるから之には自治的の計畫の起らんことを希望する次第である。又是國民の義務を信ずるのである。既に今日の如く新教育の眞價を認識し其普及を唱道する者が地方有力者中に少くないのであるから、今後は百尺竿頭一歩を進め、其勸誘の宜しきを得る時は現に内地人の居住者僅に四五十戸にも達すれば私費を投じて學校を設置する實物教訓もあることなれば、朝鮮人の資産家相協力して學校建設費を寄附するとか又は共同的經營の下に私立普通學校を建設せしむるとかいふことも左程の難事ではあらざるかと信ずるのである。假令中には吝財漢が居つて一時其義金に應ぜざるものが居ても之等には相當に社會的制裁を加ふることも出來、又督勵の道もあると思ふ。如何に吝財漢と雖も其子弟愛育の爲めには從離の機あることゝ思ふから此等の小障害には頓着せず各地の有志者率先して此種學校増設を計つて貰ひたい。之れ實に朝鮮人教育普及上の急務であると信ずるものである

朝鮮の古城郭(十五)

八木奘三郎

(四)歴代城郭の變遷(承前)

(ロ)鳳山郡の土城(續)

(二)地形は平坦を主とせしに似たり 城郭創始の當時は如何なる地形を選びしか、普通に城郭と云へば、後世制限を設けし時代は別として、必ずや險要の地に設けしならんと考ふる可し、然れども城郭創始の時代は敵味方共に大軍を集めて戰ふことなく、又戰術も幼稚にして、單に力攻めの風と覺しければ、必ずしも險に設け、又大にする必要なく、隨て地形は重に平坦の地を撰びしならんと考ふ、周禮の疏を見るに次の文あり。

欲置國城、先當以水平地、欲高下四方皆平、乃始營造城郭也

是等は國城の場合なれば、日本の江戸城、名古屋城の如く、守りを四方に置て、唯だ本城の壯大を主とする意味ならんも、元來城郭は各自有力者の家を守り、一族を保ち、若くは領民を助けんとするにあれば、不便なる地にある可き道理なく、大抵は市街に接近すると共に、又平時の地に築造せしこと疑ふ可からず、殊に朝鮮に於ける樂浪、帶方時代の古城址は皆な平坦なり、去れば最古の分は皆な此類と見て大過なからんか、而して後世と雖も便宜の許す限りは矢張り平地を撰べり。

(三)最古の城郭は方形ならん。朝鮮の古城郭は前條已に述るが如く、其樂浪帶方時代の分と稱するものは皆な後世の修築、若くは改築と覺しくして舊形を知る可からずと雖も、其地形に依て按ずれば大同江畔城郭の如きは初めより方形に造れるか如し、何となれば其地の三面は自然か加工か不明なれども、自づから長方形を爲せばなり、又沙里院近傍の唐土城に至ては此形勢を察す可き便宜なしと雖も、其附近土壘遺跡と認む可き高まりをたどりて見れば多少不規則なるも猶ほ長方形を示せり、されば後世の分も自づから舊形を存せしなる可く、又此點より見て方形なりしことを推定するは敢て不當の見にはあらざる可し、猶ほ周書に記せし周公經營の洛陽城は支那古式の城郭として、又其記事の正確に近き分として大に價値あるものなるが、右によれば「城方千六百二十丈郭方七十二里」と記せり、之を他の形狀に造りし文に對照するに、伍子胥の造れる吳城、范蠡の築造せし越城の如きは、單に「周圍云々」と記して「方」とは云はず、故に吳城の如きは、單に方形を意味せしこと明かにて、是亦支那上代の正式なる都城の形狀を推知するに足れり、支那も春秋戰國の頃より、孫子吳子の如き戰術家輩出して互ひに新戰法を講述せし結果、城郭の如きも玆に變化を生ぜしに似たれども、都城は後世に至るも尚ほ舊形を保ちて

財界時言(十四日)

新内閣と財界

○寺内内閣の成立に就て、財界の要部に於ける批評を綜合するに、單純なる批評と云ふよりは、寧ろ一度成立したる新内閣に對して、其の財政經濟政策の當に斯くありたきを希望し注文せるものと見て可なるが如し。

○或者は曰く、歐洲戰亂の勃發以來、我國の政務は愈々益々複雜多事となり、前内閣の施設に係れるものにして今後解決を要するもの尠からず。且つ戰亂の終局何れの日に在るやを知る可らず、從て戰時中、或は戰後の施設經營は、今日以後政府當路者にとり、重大なる責任を伴ふべく、此時に於て職に財務の局に當る者は經濟財政の聯絡を顧慮し、財界の健實なる基礎を築き、國家百年の長計に遺算あらしむ可らず。幸に新内閣は藏相の任を内閣の首班たる寺内伯に於て兼攝し、之を輔佐するに多年財務の職に熟掌し、且つ民間經濟の實情に最も精通せる勝田次官を以てす、其の治績の大に見るべきは之を想像するに難からず。併し現下の我が經濟界は世界的大變遷期に遭遇せる際なれば、新内閣の責任は洵に重且大なり。

○又或者は曰く、今日政黨を基礎とせざる内閣の出現は兎も角として、新内閣に對し第一に注文すべきは對支政策を確立して、日支永遠の親善を事實に行ひ、經濟政策としても支那の開發、支那の福祉を助長増進するに努め、其の獨立の基礎を固くせしめて、東洋の平和を永久に確保すべく最も誠意を以て其方針を樹立せむ事なり、これ新内閣の荷ふべき最も大なる責任の一たり。而して支那をして幣制改革を斷行せしむるは支那の爲めに利益たるは勿論、日本東洋、更に大にしては世界の利益たり。宜しく之が爲めに努力する所あらんを望む。

○又曰く、政黨より孤立無援の内閣なりとて、要は善政を布くに在り、新内閣諸公思を玆に致さば、案外國民の信頼を贏ち得べく、吾人の希望を云へば、生産に關係ある政府事業に對し今少しく積極的方針を執らんことなり。但し一部の人氣取りを目的として、輕忽なる計畫を無遠慮に實行する事は最も慎しむを要す。

○之を要するに財界の新内閣に對する思惑は、今次の政變を餘り重大視せず、如何なる内閣にても、財界に對する施設宜しきを得ば足れりと做し、多くを論せざるもの丶如し。

黄海道を縫うて(六)

豺の子生

△憲兵隊と其職責 信川に著いて郡衙を訪ふと、此處は憲兵隊との折り合ひが宜い爲め諸般の治績は極めて見るべきものがあると鼻を蠢かした、後、分遣所長は大した老練家であり名望家であつて宅は直ぐ此の近所だから是非訪問して見よと勸められたので取り敢へず敬意を表しに宿に歸ると間も無く大日公園と共に所長の來訪を受けた。此の所長は特務曹長ださうだが鮮地には古くから來て居るので能く各地の狀況に通じ、且つ相當の年配であつて常識にも富むで居る。地方の憲兵さんは廣い意味からいふと司法行政を兼ねた役人であるので地方民の勢力は大したもので何處でも憲兵隊と聞くと從順猫の如くになつて仕舞ふさうである

△地方廳との連絡 職務を執行する上に於ては正に斯くある可きもので誠に結構な次第であるが然し職を之れに奉ずるものは其の勢力の大きな丈け其の責任は非常に重い譯であるから一擧手一投足にも輕擧の謗が無い樣でありたい。斯んな事は釋迦に說法であつて上長官の訓戒でも大抵耳にタコが出來て居るだらうが憲兵隊員は警察官なども同樣であるから血氣の人が無い樣であるから益々上にも愼重の態度を持して民の愛撫に努めなくてはならぬ。殊に憲兵隊は憲兵隊司令官の直轄下に働くもので警察とは事實上官制を異にして居るから分遣所と地方廳との聯絡にしてゐる趣きがあるから分遣隊でも常に意を地方廳の方針に注ぎ絕えず意志の疏通に努めて相倚り相扶けて以て萬般の治績を舉ける事が大切である。

△昔日の滑稽無矣 以前は之れに就いて面白い滑稽談もあつたさうだが今日では大に釐革の實を擧け、現に自分が通つて見た所でも何處とも能く相互の聯絡が取れて至極圓滿にやつてゐる。就中信川は郡吏が自慢してゐる丈けあつて一層頭角を現はしてゐるのは芽出度い極みである。信川でも亦小林氏の鼾聲に惱まされて碌々眠られなかつたが此處の宿ではチヤンと其の心得を以て居ると見へて同氏と自分とを最も北の一室に寢せ次ぎの室に母堂の床を敷いたので、他の御客丈けには餘り迷惑をかけずに濟むだ樣であつた。

通學生 寄宿生 校外生 簿記募集 立太子記念特設募集 東京芝區櫻川町十一番地 私立 認可 日本簿記專修學校

建長寺管長 菅原時保老師新著 禪窓閑話 四六判布裝美本金九十錢 送料十錢 著者揮毫(掛軸用) 不立文字の禪、悦樂趣味を得る禪門の奇傑、其胸懷を瀉して尊き茶飯事に存する人生の機を談じ説く 南天棒老師 中原鄧州 叩閑禪 定價金九十錢 送料十錢 發賣元 大阪屋號 京城本町

巖谷小波先生監修 幼年畫報 十一月號 特別附録 幼年レコード 各十二錢 東京本町 博文館
立太子式奉祝記念號 幼年世界

理學博士遠藤吉三郎先生新著 西洋中毒 四六美本 定價金壹圓廿錢 特價 人に病あるが如く國家にも病あり國家痼疾今や膏肓に入らんとす之を診斷治療する國手は此書なり

三叉竹越與三郎先生著 二千五百年史 増訂大冊 特價貳圓 南國記 増補縮刷 三叉書翰 借春雑話 東京堂專賣 大阪屋號

婦人世界 秋季増刊 嫁入支度

嫁入の修養 適當の男女年齡 婚姻前に調査すべき要件 いひなづけ 嫁入る前に必要の事 結婚と讀書 嫁入支度注意 嫁入と結婚當日の服裝 結婚式の實例 新婚の料理 嫁入後の心得

英語自修書 元木貞雄 第一讀本 第二讀本 第三讀本 第四讀本 第五讀本 ナショナルリーダー 發行所 文盛堂書店

最新刊 元木貞雄先生著 中學英作文

◎朝鮮總督決定

親任式は十六日

朝鮮總督の後任は愈長谷川元帥に決定親任式は十六日午前宮中に於て行はせらるべし(東京特電)

◎東拓總裁は石塚氏

豫て辭表提出中なりし東拓總裁吉原三郎氏の後任は總督府農商工部長官石塚英藏氏に決定近日中任命を見るべし(東京特電)

◎借款功勞叙勲

支那に對する五國借款に關し斡旋したる左記二氏の功勞を錄し十四日左の通叙勲の御沙汰ありたり(東京特電)

叙勲二等授瑞寶章 横濱正金銀行取締役 從五位勳三等 小田切萬壽之助

横濱正金銀行助役 武内金平

◎外交官任命 發表

十四日左の如く任命發表ありたり(東京特電)

叙勲五等授双光旭日章 公使館一等書記官 藤田敏郎

任總領事(三等) 大使館三等書記官 子爵 武者小路公共

任外務書記官(五等)

◎ヴ市民の軍團募集

希國王を無視して政府を組織す

ヴェネゼロス市民は希臘國王を無視して別個の政府を組織し同時に聯合國に參加する爲め軍團を募集しつゝあり(倫敦電報)

◎伊軍奮戰著々奏効

羅馬來電=公報に曰く伊軍は引續き激戰の結果十一日獲得せる地域を鞏固にし俘虜千七百七十一名を獲たり(倫敦電報)

◎伊軍多數の俘虜を得

伊國軍はカルソの戰鬪に於て敵兵一萬を捕虜とせり(倫敦電報)

◎御召艦決定

福岡縣に於ける陸軍大演習御統裁の爲め 聖上陛下行幸の際御召艦は榛名に決定せりと(東京電報)

◎青島神社建設

青島軍政署總務課長小泉六一氏は十四日郵船西京丸にて門司歸着其の談に曰く青島にてはモルトケ、イルチスを始め其の他砲臺の山腹を拓き一大神社建設の計畫あり同設計は内務省杉谷技師假設計を爲し來年本設計を爲す筈なるも祭神に就ては未定なり、青島は各種會社並に民間の起業共に盛んなり(門司特電)

◎奉天の經濟界

活況を呈し來る

奉天九月中の財況に付或筋の調査を聞くに奉天附近及び奥地の農作は豊饒にして平年に比し二割方増收の見込み確實となりたると(二)特産物の大宗たる大豆の市價高氣配を持續しつゝある爲め自然農民の購買力を昂上せしめ(三)銀塊相場高及び金票相場下落に對する思惑買入氣は一段の振興を見たる事(四)湶匪の撤退歸還して民狀平穩に復したる等の理由により諸市況は本月に入り活氣を帯び來り殊に輸入界は

▲近年になき好況 を呈したり試みに主なる商品に就て一言せんに綿布は市價高騰せしに不拘其の賣行高は昨年同期に比し約二倍半を示し麥粉亦原料安氣配強からざるも荷捌極めて宜しく特産物は入市未だなく纏まりたる取引を見ざるも例年の如く自用大豆先づ動き豆粕に對する内地注文亦續々入込み來りたれば同市場は漸く小繁を呈したり右の如き狀況なるを以て當地金融市場は下半月以來多少資金の移動を見たるも大勢は尚ほ緩漫の狀態を免れず日本側四銀行の月末帳尻は前月末の夫れに比すれば左の如し

	本月末	前月末	比較増減
預金	一,0六四,二五四	一,0九五,二三五	減 一〇,九八一
貸出	一,三六,五五一	一,三四,七六七	増 一,七八四

次に支那側銀行は兌換券の取付けを慮り本月に於ても尚新たなる貸出しを手控へ專ら發行券の回收を計り

たれば市中金融は前月同様硬澁の狀態を脱する能はざりしも之れが爲め銀紙の差は減少して千元につき僅に十元以内となり從つて其差を利せんとする

▲兌換取付の氣勢 を挫きたり今後奥地特産物の出廻り増加に伴ない小銀票の需要激増し來りたらば銀紙の差は今後益々縮少すべく從つて今夏以來問題となりし支那銀行兌換も茲に消滅を見るに至るべし鈔票市場は其後露國の戰況有利なるにルーマニヤの聯合軍側に參加等の好材料ありたる爲め留貨に對する思惑買ひ廻り上旬には百圓に付百六十留迄騰貴を示し又先物一日の出來高は一羅にして

▲百萬留を超過 するの盛況を呈せしも最近に至り露國政府は紙幣二十億留増發案を提出したりとの噂傳はり爾來相場暴落し取引立たず次に小洋相場は月初三百圓に付百二十三四元なりしもの月末百十五六元に昂騰し此間投機思惑盛んに伴はれ相場亂高下を示し市場繁忙を加へたり

◎滿洲特産南下

△約六十萬噸に上らん

▲特産の豊作 滿洲に於ける本年の特産物收穫は各種の報告を綜合し見るに大豆は開花期前後に旱魃續きたるも昨年よりは増收の見込立ち高粱の如きは南北を通し昨年に比し二割乃至三割の増收見當にて小麥も豊穩と認むるを得べきが故に概して本年は平年より約一割五分増の豊作と見て大差なからん

▲特産出廻り期 特産出廻り期には猶ほ多少の餘日あるも各地とも既に收穫を了し輸送準備に着手しつゝあれば其の市場に現はるゝも近きにあるべし大豆輸送期は例年十一月末より開始され翌年三四月を以て終るも其の大半は年内に輸送され殘部は各月に亙りて出揃ふを常とす特産既に豊作とせば其の輸送額の多きもまた想察するに難からず

▲東清鐵制貨 こゝに注意すべき露國東清鐵道の貨物輸送制限なり東清鐵道は戰時軍需品の輸送多忙にして貨車の大部分は戰場に送られ廻送自由ならざる結果聯絡貨物輸送の上に困難を來たし其の聯絡引受を毎日十五車に制限したるが之が爲め寛城子驛には堆貨益々増加し特産輸送期に迫れる今日之を沍盤に送ること到底充分なる能はざる狀態にあれば北滿大豆の多くは一昨年と同様南滿鐵によりて大連に南下し來るべく農作と相待つて其の特産南下額は多かるべき豫想なり

▲特産南下額 特産殊に大豆の南下は明治四十二年三井、ナミュール商會の大競爭の下に特産物が始めて歐米に輸出されしとき六十二萬三千噸といへる未曾有の高に達したるが之は特別として爾來多少の増加あるも大體において年次その額を増加し一昨年は五十九萬八千噸、昨年は五十八萬二千噸に達したれば前記の如く豊作及び東清鐵道貨物輸送制限より生ずる北滿大豆の南下豫想等を以てする時は本年の特産南下額は一昨年以上即ち尠くも未曾有と稱せらるゝ四十二年の約六十萬噸以上に達せんも知れず然らざるも約六十萬噸位ならんとの見込也

▲埠頭堆貨準備 右につき大連埠頭にては南下特産の堆貨に對し既に之が準備をなしつゝあり現在埠頭には大小二十六個の倉庫を有するも一時に數十萬噸の大貨物を包容する能はず勢ひ他は野積となさゞるを得ざるを以て其の野積法に改良を加へ猶ほ八分まで竣成せる第一棧橋東方寺兒溝の埋立地十萬坪を以て特産野積地に充つる筈なるが之を使用せば優に三十四萬噸の貨物を收容する坪を得べく更に乙埠頭の埋立地約一萬坪も野積地となす筈(大連)

◎國稅徵收規則改正

本月九日附總督府令を以て國稅徵收令施行規則改正の件を發布し來十六日より施行す可く十四日の總督府官報を以て發表せり

◎鑛業登錄件數

九月中の鑛業登錄申請件數は總計二百三十九件にして内受理數百六十一件を算し其の登錄稅額一千百七十圓餘となれるが之れを前月に比すれば稅額は多少減退せしも件數に於ては若干の增加を示せり

◎地方經濟狀況(九)

仁川商業會議所調査

黄海道鳳山郡地方(續)

▲主要穀物の集散狀態 本郡には沙里院、銀波、路山、馬洞の四市場を有し穀類も殆んど此の四市場によりて集散せられ多くは群入仲買の手に於て買出め然る後内地商人に轉賣するものなり而して之れ等穀類は汽車に依りて平壤、仁川、釜山に送られ又た水運に依りて鎭南浦に送らるゝものなり昨今當地にての談によれば廻者米搬送が仁川より鎭南浦の方が寛なる故比較的多くの米は鎭南浦へ吸收せられつゝあると云ふ本年度小麥の總木商店共益社其の他によりて沙里院驛から發送せし額は七八月の二箇月間に千〇七十七噸に達したりと云ふ要するに沙里院は京義線中有數なる穀物集散地にして經濟的勢力範圍は遠く載寧、信川、安岳より殷栗、長淵、海州の一部に及び南新幕、瑞興、平山の一部に渉る廣濶なる[illegible]

▲主要物資の集散狀態 本郡に集る日用雜貨類は總て之れを平壤に仰ぎつゝあり其の[illegible]

◎京釜線發着一部改正

京釜線改修工事進捗の結果十一月一日より京釜線若木金泉間に龜尾大新の兩驛新設せられ哩程亦約六哩を延長せる爲め鐵道局にては自然列車運輸時刻の改正を行ふ事となり不日發表する由なるが右は唯改修區間一部の改正に過ぎず南大門釜山兩驛の急行並に區間列車共全部發著者の如し

◎改修線開通と賃金

十一月一日より京釜線改修區間開通の結果京釜間の總哩程現在に比し五哩餘の延長となる爲め京釜間乘車賃[illegible]

▲金融及び經濟狀態 本年始めに於て[illegible]

▲忠南洪城郡地方

▲稻作 例年に比し挿秧時に於ける降雨多量なりし爲め山間部に於ける畓と雖も其の植付を了し[illegible]

▲麥作 播種以來降雨過度にして發芽を障げたるのみならず低地部に於ては水害の爲め流失せるもの[illegible]

▲大豆作 [illegible]

▲雜穀 各品とも發芽より生育に至る迄順調[illegible]

▲主要穀類集散狀態 本郡の東北部は山脈の縱斷するありて物資の運搬甚だ困難なる[illegible]

▲物資集散狀態 上述の如く[illegible]

◎鐵道倉庫好況

朝鮮鐵道二十驛に於ける倉庫營業狀況を聞くに十月上旬分は入庫九百三十三噸にして昨年に比し六百六十七噸を增し出貨は八百十三噸を算し同じく昨年より五百七十三噸の增加を示し沿線貨物の出廻り多きと倉庫利用者の著しく增加し來れるを見得べしと

◎上旬鐵道收入

十月上旬に於ける朝鮮鐵道の運輸收入は客車收入十萬五千七百八十四圓貨車收入十三萬三千七百二十圓合計二十三萬九千四百八十六圓にて一日一哩收入は二十三圓三十二錢に相當するも昨年に比すれば三圓卅九錢の減となる由

◎仁川防疫費補助

仁川府にては虎疫發生以來隔離病舍新增築、火葬場建造、貧民救護等臨時防疫費として九月二十五日より十一月二十日迄二箇月間の總豫算一萬六千五百八十圓を計上したるが現今の府財政にては到底負擔に堪ゆ可きに非らざるは勿論市街不振の折柄府民の負擔を以て之が補助を爲す能はず止むを得ざる時は補助の件に關し道當局と折衝した結果道より之が補助を仰ぎ度き旨を申請したるが補助の途無きを以て國費より補助する旨通牒ありたるが補助額は總豫算の約半額に達す可しと

◎長春より

――第一信――　琴花庵

内蒙古の物資を擁して吉林の大消費地を控へたる長春は蓋し南滿唯一の活躍地なり、常に馬賊が襲うて以て車資金を此地に掠めむとするに徵して先づ其富の充實せるを卜するに足る、小賈商人の要害にあらざるも一部商人の宜しく謀る事に依りては亦大に望むべし市の大半を構成する内地人の成功者と呼ばるゝものゝ金貸業者と賣藥商に止まりて眞の實業家の認むべきあるなく二三百萬の産を算する支那商乏しからずして内地人金貸業者の優なるも正味十萬の資力ある稀なりと云へり。輸入商品は概ね上海を經由し、内地生産品も支那産の名に於て賣られ、内地商人の手に依りて直ちに輸入さるゝは幾ど少なきが故に朝鮮産物の如きは有望なれども此の商習慣を打破するの最も難く、如何なる優良品も俄かに販路を擴め易からざるものあるを認む切に信用ある大商人の奮勵を煩はさゞるを得ず。

か快味を覺ゆるは長春の食糧米が總て朝鮮米なることなり、但し關稅及び輸送の關係上仁川より大連に入る少量のものを除き滿洲の精米は七八分通り安東縣精米所の供給にして在朝鮮の各精米業者は曙に互に無

◎南吉北語

米國近海での獨逸潜航艇の跳梁に對してはウヰルソン大統領もランシング國務卿も未だ何とも言明はせぬけれど大統領の手許へは大分諸所方々からやかましい電報が來るらしい▲之を大きな問題にして米獨交渉でも始めやうものならば獨系米人はまた躍起になる▲躍鬼になれば總選擧には一同ヒュース氏に加擔するぞと叫び出す▲若し其處いらから考へて有耶無耶の裡に葬られるものなら今度は軟弱外交の嘲うるさいから國内に滿つる譯だ▲時も時なり獨逸潜航艇の跳梁は大統領も定めて三嘆して居る事だらうか▲斯うなる事は先刻御承知の獨逸だから何あに國際法違反では御座らぬとベルンスドルフなどはニヤリ〳〵と笑つて居る底氣味の惡い奴だ▲獨逸の惡辣な手は猿猴の手よりまだ長くて其處いらを引つ搔き廻すのは世界獨特たらう何處迄も厄介者だ▲露國の上院議員グリチャンノフ氏曰く▲露西亞の爵位は公爵と伯爵丈けだ▲尤も男爵もあるが之は獨逸系で波羅的海のリガ地方に限られて居る▲現ニコラス陛下の御治世二十三年間に爵位を賜ふたのは唯の二度で日露役後ウヰッテ氏は又た現戰爭前に露協會長コヽツオフ氏と共に伯爵を授けられたのみだと▲之れを聞ては耳の痛い人が日本に一人あるんでるイヤ露西亞に對しても面目ないのであるんである

人事

▲宮川五郎三郎氏(平壤實業新報社長) 十四日夜入京南部へ

▲松田義雄氏(鮮銀大邸支店長) 十四日夜入京不知火へ

▲成田男八氏(日韓瓦斯取締役) 同上

▲賀茂百樹氏(小野田セメント社員) 入京中の處十四日朝退京

(十月九日)

□附錄 本日再築落成號附錄四頁

コレラ彙報

▲旭川に菌發見

旭川の上流下流の水を採り檢鏡中のところ十四日蓬來町附近より採取せし水中に菌を發見したり同川の沿岸は[illegible]

しめたる[illegible]保清松が入院加療中なりし泉町前田醫院に對し元山警察署は[illegible]

▲危險なる帆船

木浦檢疫支部は十二日仁川より入港せし帆船栗[illegible]

るが更に元山憲兵分隊に在りてはメリケン丸の根據地たる松島に繫留中の大小船舶全部に對し大消毒を施したる上五日間の[illegible]

▲隔離地へ給水

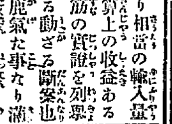
麻浦洞にてはコレラ病菌の撲滅の爲め龍山分隊にて[illegible]

を製造し之を隔離者各自に配布しつゝありしも尚ほ是迄便所の設置なきもの多かりしも此際嚴重督勵して悉く便所[illegible]

安(二三)は十三日午後順化院にて死亡

姜正、元町三丁目河鳳壽妻李姓女(三三)白相根長女白立非(一〇)其母金姓女

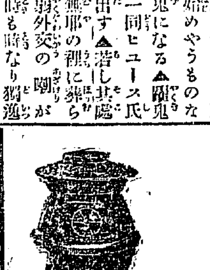
作物收穫を了り來月末まで移轉する方針なり▲安東道路改修 乃城より九川を經て安東に通ずる道路は既に全部調量を了し本年秋期改修に著手する事となり改修の[illegible]


今が一番恐ろしい病氣に罹りやすい時です――少しでも怪しいと思つたらスグ藥店へ
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二一番 振替二三七番

銃砲火藥
鑛山用火藥ダイナマイト
安全爆藥雷管導火線
新式獵銃獵具類販賣
川口屋銃砲店
店主 林國藏
東京市日本橋區本銀町二丁目
電話本局(特)九二〇番 (一〇七五番)
振替東京三九二番

鼻緒製造
内職
下駄の鼻緒は日用品にて販路廣大なれば確實有望事業なり男女共自宅で出來る仕事簡易にて練習次第一日三四十錢の利益あり小資本にて就職さる年中仕事あり製品は取引す詳細の製造案内及見本等は切手十二錢で送る
東京市下谷區中根岸町八十一(振替東京三一二〇四番)
吉川合資會社 鼻緒工場

日韓書房
新版報告
若林譯 カゼィル 外妾の告白 定價七十五錢 送料八錢
大内青禅著 人生の快樂 定價一圓廿錢 送料十二錢
前田慧雲著 力の生活 定價八十五錢 送料十二錢
久田中譯 結婚前の修養 定價九十錢 送料十二錢
南天棒著 一喝禪 定價九十錢 送料十錢
京城本町二丁目 電話一一五番 振替口座一四二一番


ストーブなら
京城本町 熊平支店
振替京城二四二番 電話六二一番

各國時計
自轉車
蓄音器
直輸入卸商 喜多金光堂
京城黄金町二丁目(電話一〇一五番)
振替口座七八二番

コレラの豫防に殺菌力石炭酸に十倍せる
アイゼル液
傳染病研究所の檢査成績千倍溶液にてもコレラ菌を五分間に殺滅す(各藥店にて販賣す)(目下續々著荷)

内科 小兒科
芙蓉醫院
醫學士 森 定吉
京城本町二丁目(瓦斯會社向側) 電話二六三番

…京畿本町署にては先般西大門監獄裏…す可からず…手藥水を飲用せる麻浦の鮮人が虎疫に罹れるに鑑み、同藥水の流入する…

▲元山の大防疫 既報の疑似虎列拉患者として府立病院に收容せし死亡したるメリゲン丸を繋留したる海岸一帶に大消毒を行ふと共に海岸通なる魚市場は之れを閉鎖せしめた…病の原因とも見るべき…の際鰯の腐味噌を食せるに在るものの如し(元山)

…し乗組員の上陸を禁じ、荷物の陸揚を禁したり(木浦)

…の際井水の使用は一切嚴禁したる爲め毎日漢江の河中にて二隻の舟を以て煮沸水…

▲作醫者續出 麻浦李仁…同人妻金氏(六七)白雲先妻申氏(四六)の三名は十三日保菌者、桃花洞許姓…

[ア]城

▲牛市場移轉 慶北奉化郡乃城にては去月の降雨にて牛市場流失せしを以て憲兵分隊の西南部に新たに三千坪の地を得…憲兵分隊の東南部の丘陵を乃城公園となすべく邑內有志協力計畫中なりしがなしつゝあり來春早々具體的の著手を見るに至る筈

濱島清氏の碑 —慈城々外—

慈城々外 殉國者の碑 奇しき因縁—十餘年前の悲劇

本年四月以來鴨緑江上流の地形を測量中なりし土地調査局の第二班は滿地の降霜害の如き平北江界を任にして

◇鴨緑江岸の紅葉を賞しつゝ踊つて來た、然も班長小原乙二郎氏等一行にとつては十餘年前日露戰爭當時の奇しき因縁ばなしが出來たのである、それは明治卅八年秋は九月の末つ方のとであつた、當時伊藤良造少佐の地形班に加はつて鴨緑江上流の地形測量に從事中の一人に水戸の人で濱島清といふ廿七八歳の青年があつた、濱島氏は當時の幹部にして今の第二班長小原氏等の一行と白頭山下の密林中に別れ

◇單身風の音にも身をひそめつゝ北邊慈城邑附近まで出て來たのであつた、然るに天なる哉命なる哉、當時滿洲通化附近に於て花田義軍の北大人に撃破せられたる露軍の一隊は平北渭原の上流に於て江を渡り今しも慈城邑南方二里許りなる自作嶺にさしかゝつたところであつた、憐むべき濱島氏は突如此の絶頂で露軍に出會ひ萬死を冒して秘密の地圖を隱さんと努めたけれども不幸地中に

◇埋沒せんとする刹那を露兵の手に捕へられた。君は再び慈城に引き行かれて露軍の訊問に會つたけれども頑として口を開かざる爲め遂に慈城東門外の城壁に於てあはれ露兵の銃彈に斃れたのであつた—慘憺隱れたる殉國者の悲劇が邊境白頭山下の寒村に於て行はれたけれども爾來春風秋雨十餘年絶えて英靈を慰むる人さへも稀であつた、然るに如何なる奇しき因縁か道回圖らずも當年の

◇戰友第二班の一行が慈城に來て故人の忠魂を祀るべく一大記念碑を建てることとなつた、碑は慈城北門の公園內洋々たる慈城江を見渡したる處にある、九月十二日工を了つて故人の英靈を祀つたときには同地守備隊は捧銃の禮を行ひ當年の戰友も亦香華を手向けて英靈を慰めたといふ、濱島氏の靈も亦瞑すべきであらう

女學校學藝會 興味ある競技の數々

府內南山町京城高等女學校の秋期學藝會は十四日午前九時より開會午後四時閉會せり、會場雨天體操場には全校生徒並びに職員參集、生徒有志の試みたる數々の談話、音樂等何れも美事なる出來榮へなりき、猶ほ此の日の興味を惹きしは各級選手の珠算競技、運針競技、席上揮毫等なりしが、また面白き音樂數番も試みられたり、職員側よりは坪內教諭の講話あり、上級三四年生徒の暗算も試みられたり、殊に本校特有の席上揮毫は美事なるもの少からず先づ席書には持地雪子、片山英子、渡信美代子、松藤くによ諸令孃及び米永富美、光井澄子、橋本ます、市東千代諸令孃の揮毫あり席満には足立節子、酒井つね、岩崎照子、菊井手龍、中川美穗、倉松薫、平田衣、梅田とよし諸令孃の美事なる揮毫ありたり、猶ほ學藝會順序は次の如し

○春日の局(一年石堂みと)○琴爪休暇中旅行談(二年井上美惠子)○音樂樂しき農夫、からす(一年全體)○カーライル青年時代(三年平松すゞ)○英語暗誦の到着(二年宮下みよ、三年大河原ふじ)○比良山下の颪(一年山縣きみ)○暗算(二年一同)○音樂狂奔、おきあがり(二年廿八)○國字問答(二年河內敏子)○シバの女王ソロモン王を見切(三年勢一朝子)○當籤の試驗(生徒一同)○マッチ賣(一年高瀬松江)○木村重成の妻(二年清華くに)○針の身の上話(一年川崎英子)○音樂雨(三ツめみ乙)(那須與市)(三年級廿四人)○英語鳥と狐(三年山本敏)○英語愚なる女(三年近田愛子)○英語紳籃物語(三年服部すみ)○怨な働け(二年大野春)○婦人の力(三年見島崇子)○健氣な少女(四年田邊とき)○英語面目(四年小鹿島高帝子)○母の力(四年秋吉與志子)○英語西洋作法の一斑(四年稲田よし子)○音樂君のあなた(四年有志)

京城神社 前夜祭

京城神社大祭はいよ／＼十六、七、八の三日間催さるゝにつき各町の意氣込み素晴らしく催し物等に關し夫れ／＼打合せ中なるが十五日の前夜祭には神輿に供奉すべき京城全市百餘町の銘旗及び高張提灯全部を南山京城神社に集め南山公園附近一帶に點燈すべく世話役會に於て決定せる由當夜南山公園附近より漢陽公園にかけ時ならぬ不夜城の壯觀を呈すべし

頌德碑の建設

久水府尹松元警察署長の爲めに

仁川花平里居住民は今回の虎疫大流行に際し久水府尹及松元警察署長が寧日無く防疫に努力したる結果茲に全く終熄を告げたるは兩氏の功勞に依るものなりとて里民一同感謝の意を表する爲め數日前より集會の上頌德碑を建設し兩氏の功績を永久に記念せんとし十三日元松峴洞長李鼎奎氏の令弟にして詩人なる寬薫氏に就いて左の如き頌德の詩を作製し之れを高等女學校前に建設する由

○惟公下車、和氣上下、流疫犯境、民患加已、今爲七歲、頌聲前後、寢不安休、煩惱度日、

○府尹久水三郎公愛民善政碑

民稗如己、納履奔忙、日須柴米、萬口成頌、喜不自勝、左酬右旋、民無飢色、大守三德、承命上府、癘疫大熾、急究防疫、防疫有方、率職殷勤、一念衛生、熱心治療、病不傳染、

○警視松本鶴熊公衛生善政碑

治療有理、兎脳安堵、魏平上德、萬口頌聲、忠即謹完、伊誰之功、浩然公恩、成日勒碑、

預けた五百圓を返して呉れ

道樂息子妓生を訴ふ

京城蓬萊町一丁目申駟淵方は相當の資産家なるが同人は若氣の至りにて曾つて父の眼を忍びて清進洞居住茶洞組合の妓生丁琴竹の色香に溺れ屢々同人の許に遊興したるが之に要する遊興費を其都度自宅より持參すれば家人に發見せらるゝ虞れあるを以て本年四月中三百五十圓、同五月中に百八十五圓を持參して之を遊興費として合計五百三十五圓を丁琴竹に預け置き內五十圓相當の遊興をなしたるも此程に至り全部遊蕩消費することが惜しくなりて俄かに態度を改め殘金の返却を同妓生に迫りたるが應ぜざるを以て殘額四百八十五圓を請求金額として此程京城地方法院に訴訟を提起したりとは振つた訴訟振りなりと

三滿鐵の新たに經營する七十五哩 同車した露國女學生ゾヤボボワ孃 皆小說の材料になりさうな顏の人々

寬城子驛には東淸北部沿線から運んで來た材木や板類が澤山に集積して在つた東淸北部沿線には東淸鐵道會社が經營して居る幾多の材木及び製材所が有る此茲に集積されて居る木材は一部南滿洲各地に一部は蒙古方面に輸出するものである、驛には

◇多數の露國憲兵や其他大鐵に老若の差異ある軍人が居つた日本人は長春領事館の巡査滿鐵の連絡驛員二三人と島田を結つた怪しげな若い女の群れが煙草を喫つたり犬を背負したりして戲れて居つた、赤と青との旗を卷いて入れた革袋とピストルとを首に懸けた車掌の案內で驛長が切符を検べに來た驛長は金モールの縁の取つた大禮服のやうな服裝をして居るやがて汽車は再び三つの鐘を合圖に動き出した、これから愈々東淸鐵道南部線に進み入つた譯である東淸鐵道南部線即ち寬城子哈爾賓間は百六十哩餘であつて本年七月締結された日露條約の附帶條件として露國より我國に讓渡する事となつた此南部線の一半即ち第二

◇松花江より長春迄約七十五哩餘の鐵道は其後彼我の間に授受細目協商中であつた處愈々最後案件たりし讓渡價額も一哩約十萬圓にて大略協定成り近かく正式の發表を見、引續いて我南滿洲鐵道株式會社は東淸鐵道會社より營業線路及び停車場附屬地附屬建築物等の引繼ぎを受け直ちに線路の改設を行ひ遲くも今年中には南滿鐵道の一部として

◇營業を開始の豫定であるとの事だ、東淸鐵道線路は我南滿及び朝鮮鐵道線路に比し更に一呎ばかりの軌幅の差があるから線路を其儘にしておいて汽車を曳き入れる事は能きないのである。東淸鐵道の列車と云へば可成り不格好の拵へ方で朝鮮鐵道の汽車などばかり見て居る人には一寸想像が付きそうにも無い一等室は外見は兎に角內部は相當に綺麗で片側が廊下に成つて片側が一室二人宛の部室に成つて可成に廣い私は此の部室へ恰度昨夜奉天から一緒に成つたペトログラード東洋語大學の

◇ゾヤボボワと云ふ女學生と又偶然にも乘合せた、一等室は他に露國人七八名と支那人五六名とが乘つて居つた、途中から二等室へ這入つて見ると初めの室には露西亞人ばかりで其の次の室に四人ばかりの年増の藝妓らしい日本人の女と顏付の惡い五十格好の男とが乘つて居つた二等室も其の構造は一等室と略同一でたゞ室內の兩方に棚の座席があつて一室に四人乘りである事と寢物が一等室の絨毯と異つて居ると

◇隨分贅澤な乘り方を爲て居る一體ならば一室で充分な處である、三等車の構造は一二等とは全く異り中央が狹い歩廊に成つて片側に向合つて棚が二段あつて一番上は三階と云ふ譯で片側に三人宛六人座席があり其の

◇横に二人の座席が有つて都合一隔劃の內に九人宛乘れる事に成つて居る席は板張りで敷物は何んにもない左右に窓が二つあるが室內は暗くて臆く何んとなく陰氣であるがそれでも一座席は一人宛であつて樂に横に成つて眠れるから日本の三等車の座席のやうに横に成る譯は能ぬやうな事はない元氣の好い話聲や陽氣な高笑ひの女の聲などで賑やかであつた、次の支那人の室へ行くと室內の構造は同一であるがこゝは全く話し聲もない詰め込み方で三階の棚から腰掛の下や歩廊にまで座り込んで顏も荷物も垢だらけの奴が目ばかりキョロ／＼光らせて居る支那人の臭いが温かくムッとする程衝いて來る到底も茲を通り拔ける勇氣は無い引返へして日本人乘の

◇支那人乘の二等車と云ふばかりであつた、それから室の中を通り拔けると其次ぎは日本人の乘つて居る三等車で此の室と次の室とは日本人ばかりであつた凡そ四十人位は乘つて居つた

◇三等車の一隅に腰を下して皆なの話を聞いて居る日本人の三等旅客は皆な荷物を二段の棚に押上げて二三人宛一人の座席に集つて相語つて居る私は茲に怪しさと强さとを發見した何れも哈爾賓…そ

れでなければ自分と同じく東淸南部線の一等驛館側に行く人達ばかりだ話の樣子は多く料理屋と藥屋とであるが中には眞面目な雜貨商人毛皮の買集めの商人等も雜つて居つた、皆身上話しを聞いたらそのまゝ奇拔な小說になりさうな顏をして居る

珠算の競技 —京城高等女學校にて—

◎日曜學校大會 若草町西本願寺にては十五日(日曜日)午前九時より日曜學校秋期大會開催少年少女の音樂、運動、遊戲等各種の興味深きものを選びて樂しき秋の一日を暮すべしと

▲軍人家族慰安會 十四日午後二時より龍山…軍人家族慰安の爲め…開催せり

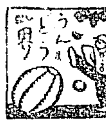
▲今日の京龍庭球戰 兩軍孰れも必勝を期す

既報の如く京城庭球俱樂部對龍山鐵道俱樂部の第二回庭球戰は愈十五日午前九時より鮮銀コートに於て開催の筈にて近來稀なる白熱戰を見るべしと一般に豫期せられつゝあり、戰の結果は目下の處豫測すべからざるも京城軍が屢敗の決を此一擧に決せんと理詰の戰法に出でんとするに對し第一回戰に於て不覺を取りたる龍山軍は過般の滿鐵對鐵道の結果に鑑み戰法を變更し必勝の策を施しつゝあり兩軍共意氣込素晴らしく當日は例に依り鐵道軍の老武者和田參事中野技師黑澤工場長…先發選手となり…早稻田大學の猛將…兩軍の選手左の如く決せりと

▲龍山軍 松本、中川、大塚、中川、大内、大村、永田、深崎、井山、青木、若泉、矢野、岡田、大塚

▲京城軍 龍丸、篠崎、那子、島、金子、宮川、蜷川、武見、松本、米田、鈴木、戸ケ崎、湖田、坪井

倘ほ仕合終了後兩軍選手一同は銀行集會所に於て茶話會を催す由にて引續き朝鮮銀行の主催にかゝる兩軍選手、兩俱樂部幹事、運動記者團の招待會あるべく大阪朝日新聞社にては當日優勝者中の最殊勳者に銀牌を寄贈すべしと



▲壽座 既報の通り市川市十郎一座は十五日より四日間開場と決したるが大神宮祭典當日は同座俳優一同化裝して御輿行列に加はる由返り初日の十五日の藝題は一番目嵐山花三郎中幕三勝半七酒屋大切地獄御殿樂記にて役割次の如し

おその、半七、さかみ(片岡紳左衛門)長太、あつもり、義經(林長之助)お花、お通、三勝、玉おり、藤の方(中村霞女)滿造、半兵衛、宗清(中村雁十郎)佃太、母親、半六(片岡九十郎)權次、平山武者所(淺尾國太郎)花五郎、宗岸、梶原(市川小文治)熊谷直實(市川市十郎)

▲浪花節の浪花節 浪花節に乘込みたる桃中軒桃子改め日の本三都子及び神田伯猿一行は十四日より開演したるが三都子伯猿は當地新聞の…て人氣よし

年末年始廣告用 賣上を倍加する 新式引札 今迄にない初めて出來たよい品物

必ずお氣に召します(御報次第見本持參)

大正六年 カレンダー 今迄にない丸形ハート形小判形の日表の打拔品と新式の瓷紙一度御覽下さい

大阪吉井代理店 京城本町 ウツボヤ書籍店 電二五七二 振二二二

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品

糖化力最强にして効力常に一定す

發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衛 大阪平野町二 岸田市兵衛 東京本町四 田邊元三郎

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(品商陳列館前) 電話六二三番 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄

メリヤス毛布ハ 京城 丸一綿部 電話一〇九一番

かつけに 尾崎糠精 村井弦齋先生命名實驗證明 全國藥店に有 販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
◎地理教授の方法及び內容の研究	牧口常三郎	一五〇
◎刑事訴訟法	樫田三郎	三二〇
◎歐洲戰後の財政及び金融	田尻稻次郎	一二〇
◎刑法判決質例	長島毅	一八〇
◎改訂增補西洋史眼 上下	木村正辭	二五〇
◎株式大鑑	堀江歸一	一二〇
◎最新式辭と演說	橋田孫吉	一五〇
◎祇園囃集	中澤弘光	一四〇
◎後の最痛	高濱虛子	八〇
◎茶話	薄田泣菫	六〇
◎お夏清十郎	岡田八千代	四五
◎八犬傳物語	大町桂月	九五
◎大僧正天海	須藤光暉	二三〇
◎法學通論	中村進午	二二〇
◎フォードの社會學	遠藤隆吉	一五〇
◎强い身體を造る法	川合春充	一七〇
◎朝鮮巡查受驗準備書	田中秀次郎	六〇

京城本町二 電話二一六八 振替京城二四五 …屋書店 京城店

簞笥、鏡臺、家具、製作販賣(御注文により御好調製可仕候) 京城本町四丁目(電車停留所右へ入る斗丁) 津村簞笥店 電話二六七〇番

女鳩

渡邊默禪

（二三二）身上話

大野は傍で失笑した。

『はツはツは。そんなことを言つたのか、生駒が……まるで正反對だ、あの秀子と此の鳩子さんを顛倒させて、道理らしく理窟をつけたところがい〻。はツはツは。それで君は一杯食はされたんだな。なあるほど』

生駒といふ一語にぎくりと大野の顔を見た源太は、さも怪訝さうに

『貴君は知つてるんですかね。私の黒幕を……』

『知らなければ甚麼かしてるんだ。そんなことは神町に泊つた時から、ちやアんと心得てゐる。そらあの日の夕景、君は何處からかやつて來て街の前にうろついてさ、橋の欄にさしてあつた生駒の密書をとつて、欄の陰に行つて讀んで見たらう。その證據でさへ既に僕の手に入つて、證據物件として擱られてゐるくらいだぞ』

『へ〻ー』源太は眼を据ゑた『驚いたなア、是ぢやあ成程、悪いことは能きねいや』

『一體君はどんな動機からして生駒と知合になつたんだね』

『知己になつたそも〳〵のことですかね。それは恁うなんでげす。私ア實は山形を食ひ詰めてから朝鮮滿洲と飛んで廻つて、鐵道の工夫になつたり、苦力になつたり、いろんな勞働を行つてゐましたが、餘り思はしいこともないので、東京の友人を頼りに内地に戻つて、土木の方で一年ばかり苦めつけられて、それから市役所の撒水人足で、暫く丸の内あたりで、馬の尻を叩いてゐやした。すると横濱にゐる古馴染の男とばつたり出會しましてね。おい俺の方に來ないか、濱は濱で又た面白いこともあるせ、といふもんでげすから、樅むよツてんで直と出かけてからに、突懸がお前さん、葬儀屋の馬車の馭者でさア。さうして染ツ返しのヨルクハツトを頭の上におやかして、引張るとピリ〻と來るフロツクコートに突くるまつて、眞黒い喜劇面を火葬場にさらしてゐたと思ひなせゑ。此方は樂で御祝儀が貰ゐるし、饅頭を頬張りながら馬車の上でコツクリ〳〵居睡ができるんでげすから暢氣に納つてゐやしたが、懐中があつたかくなると其處が岩情者の性分で、なか〳〵じつとしちやあ居られませんや。西洋の乞食然とした恰でチヤブ屋に入つたり、バアでへべつたり底の拔けたビア樽のやうにごろ〳〵してゐやしたが、或る時、南京町で呷つた末が支那人相手の大立廻りを始めたんでげす。なアに、つまらねことが癪にさはつてチヤブ屋の鳩をあを毆りつけて皿や小鉢を叩ツ懐したのが原因なんで、すると何でも十五六人も支那人が飛出して來て、蠅のやうに悪着くツてね騒ぎでげせう、奴ツ日本男兒の腕ツ節を見ろツてんで、店にかけてあつた招牌をおツ振廻して、勇ませね武者振を見せたのはよかつたが、何しろベロ〳〵に酔つぱらつてゐるんだから敵ねませんや、仕舞には取つて詰められて、打つやら蹴るやらの袋叩き、もう既のことに息の根を止められつちまう所へ、俥で通りかゝつた紳士が見て、急いで車を飛降りて、こら何を爲る鎮まれッと怒鳴ツたもんだから、現金な支那人だけにソラ日本人だ〳〵ツてんでばた〳〵逃出しちまつたんでさア。お陰で私ア命だけは取止めましたが、宜う片息になつてゐたんでげす。その紳士は誰だと思ひなさる。今の生駒さんですよ。へ〻』

京城本町三丁目（帝座南隣）耳鼻咽喉科 伊藤醫院 醫學士 伊藤應隆 電話二三七七番

本町一丁目三越向 電話一〇四七番 歯科診療 野田歯科醫院 歯科醫學士 野田應治

京城明治町本通 未生流生花師範 盛花家元 宗匠 春道齋

隨鷗吟社（十月八日於衆渓香山樓）

秋氣蕭條上鬢毛 愛柳
凄寒一脈透吟袍 陰蓉
可憐籬畔蟲聲瘦 琴齒
只有窗前蟲籟號 因景
水冷秋深湖雁多 東松
敗荷殘柳奈愁何 錦江
欲呼廚婢還温酒 山北
幸有禰詩隣友過 香岡
好適鷺溪避世譁 陶蓬
竹闕不許駐輕車 劉竹
詩人猶有愛時淚 鴻南
躑向湖枝柳畔花 翠坡
蕉破荷殘秋氣涼 劍寶
黄花白雁近重陽 天陽
隔牆誰送一聲酒 香夢
笑對南山吟興長 六石
秋淨東台久雨晴 亭散
敗荷湖上發愁聲 江霞
怨爺詩思孤鴻起 堆茶
誰識當年蘇武情 南洋
西風吹冷入前庭 坪裳
稍點秋林乍失青 抱坪
□抑寒燈枯木什 川裳
好吟春意早梅馨 武田
秋雨新晴天氣澄 西鶴
飛機沖去似鵬鷗 汝南
胡笳一曲知何處 六華
演武場邊塵霧騰 鑵江
天高風冷雁横秋 英蘭
刷氣輕空末寫愁 新如
世事紛紛須掩耳 山鶴
百杯折得釣詩句 仙坡
鷗鷺道隨盟可詩 貝齋
秋花秋草幽吟 標雨
不知何處風雲亂 沼嶺
話到煙波情自深 水香

海月句録

蟬死に居る種韮の花あさ 秋風嶺
砂押ふ水走りに桔梗の影り 同
夕雲に水燒けして影ふ蜻蛉 同
夕顔更けし蝙蝠の閃めき 同
天の川ともだちの家さぶ 乙雨
家新らしくたち木槿ひともと 同
朝顔さき朝の膳はこぶ 同
はね紙まるめす窓下の虫 同
花火消ゆく行人續き 抜柳
露へ路よりな桔梗踏む 同
花火の輪をかぶりたつ 同
秋立つ晒布まばゆき風の中 餘渦郎
蜻蛉一ト山越ゆる道 同

讀者の領分

▲何にがどうしたつて云ふのだ世の中には閑人が多いと見ゑて下だらぬ貴重な紙面を馬鹿にして居るも少し眞面目なことを投書する樣にしろツ（鹿兒島の男）

▲京城府の撒水車は同一箇所には數回も撒水するも肝心の必要な場所には少しも撒かずあれでは何の効用もなし（府民）

▲京城電氣會社の官僚的な所は本欄に此まで幾度となく見えて居るが社員の上級社員は何んと考へて居るのか未だに官臭が去らぬと見ゑ御客樣から電話をかけても横柄なこと夥しく此間も電球の取換に子供を遣つたら泣いて歸つて來た位だ（△生）

▲市内を歩いて見ると隨分何はしい劣惡な看板などがあつて都市の美觀を損ずること一通りでない京城市街建築取締法を設けるなど云ふのよりも先づ此方が先決問題ではないか（通行人）

▲紳士の自動車が通行して困る昨今の嚴重なる御取締を乞ふ（天下の平民）

▲多い揺か時々醜業婦と同乘したデモるものを旭町一丁目などは料理屋の前で見たことがある尤も永樂町から總督官邸かけて特別許可區域――ここに規程されてゐる自動車は一等道路丈を通行する……

京城旭町二丁目四番地（旭町上る左へ入）外科 内科 花柳病 皮膚科 耳鼻咽喉科 島崎病院 院長 島崎龍一 電話二七三六番 診察夜九時迄 手術室新設、隔離室、普通室 病室設備 入院隨意

婦人科 産科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話二三〇一番

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 販賣元京城日報社代理部

用 書 畫 純 7 紬 京染呉服商 まや田張店 京城永樂町 電話二一九六番

大日本國民中學會の新學期 同會にては今春より渡邊市內兩博士の指導を加へ學制の新さに改正の上ヲ教育界の稱賛を博し入會者數多の新面目を呈すべく努力するとなり更に一層の工夫を凝らし通信教授としての理想の極致に達すべく努力すと云へば讀者は是非此の機會に入會せらるべし…

畑中花の一本が咲き出し虫長　同
石に白き蜻蛉が朝の陽待てり　盛靜樓
燕去ぬ間引菜の畦はれる　同
雨戸に手かけるる虫の聲みつ　文而玉
壁照り反す陽の匂ひ動きて　白菱史
砧カタコトと又家まばらよう　傳王鬼
子供等雑追ひし月の出明るし　同
△投句歡迎 毎月末までに何回も 京城日報社内 十句以内 選者 傳王鬼

京日案内

普通 一回前金 一行 五十錢 番外 一回前金 一行 六十錢 一四名一回前金 五錢以上御申込の節は前金御送付の事
◎金融 官吏及商人の方信用貸大小にかゝはらず取扱迅速 本町二丁目通り角 柏屋 532
◎電話譲渡したし 御希望の方は電話百番又は二千百番に申込あれ 525
◎特殊化粧品徹底に付特に高價買受候 主人他に執職に付其儀安く讓る（姓名在社）529
▼古本品 本町二 電二五二七、ウツボヤ書店 427
◎外交員入用 大和町三ノ三二 柄澤 歸 前 月收の御方へ秘訣 御用の通 便宜立替御報知又御來宅 一週間以内 共 鮮人共 530
◎至急電話譲受たし 讓渡希望者は電話五八四番に申込あれ 519
◎外交 有給 委員 諸雑貨 得意先 多數 收益 確實 詳細は面談 本町 521
◎貸家 東京市神田區 三坂通 官吏向 別莊向 先畑中 296
◎古本熱心高價買入 是非御試験を乞ふ 電話二七八一番 ▲本町四丁目 群書堂 437
◎古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂 446
▲外番 恩給年金立替 新龍山 漢江通 六番地 江川 452
わた並にふとん類 極力安く賣ります 京城若草町 満屋隣 ヒロセ 553
廣告 中國新聞大賣捌 一ヶ月定價三十五錢 大漢門前 電四六 盛文堂 531
▲諸流謡曲本 振替三三九 京城南山町三丁目 中川靜松堂 527
御女中 望 家事 經歷 婦人 京城 日本國債 株式會社 朝鮮 總支店 524
都山流尺八指南所 規則書は左の所に請求せられたし 南山町二の一 九（秋吉郎前）佐藤都令 526
恩給年金 立替 即時取引退職料一切 利子年一割 515
京城櫻井町元祖 博多屋本店
宅地放賣 市内 新町 四 至急申込あれ 506
◎京城春川間毎日午前八時出發 自動車 南大門通一丁目 廣橋自働車 主務 金正淵 428
◎立替資金 年金 恩給 受領の方へ 並に公債債券賣買 仁川山手町六 仁川葬儀社内 會田 453
◎中古ミシン賣買 御用の方は御一報次第參上可仕候 京城鍾路二丁目 電話二三三八番 楠商店 467
質 よろづや質店 京城太平通一丁目 京城日報社右横 472

恩給 年金 月利壹分即金 立替 京城若草町通 秘密嚴守 中央郵便ポスト前 西村商會 497
大和町一丁目（日の出湯下る）内科 小兒科 院主 吉城俶吉 爲春堂醫院（電話九二八番）482

▲美味なる▽ 蟲下し最良藥 定價五錢 十錢 二十錢 五十錢

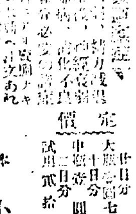
岩崎大海堂ノセメンシ錠 美味なる 蟲下し最良藥 さんとにねくわー 大阪岩崎大海堂 本舗

主治 効能 蛔虫、諸症、蟯の虫、蟲熱、なきの虫、乳あまし、腹いたみ、頭痛、虫のかん、胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫

▲廿錢の包は一錢分入り一圓入で大服よく常用と進物に妙です

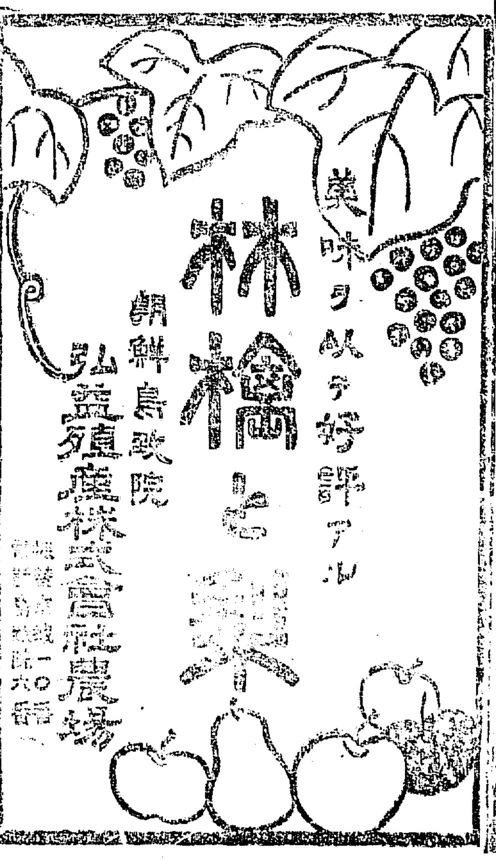
新刊書御案内
本誌 續朝鮮時論 ……
評論 ……
現代名家書簡集 ……
論語と算盤 ……
事務の取扱方 ……
修養講話 ……
變の手 ……
代數學學び方考へ方 ……
新式簡易 書簡文 ……
將棋 奇譚 ……
法律問答 ……
朝鮮政法規大全 ……
京城黃金町二丁目 永樂町（官吏事務所北入）大阪屋號書店

質 堀佐營業所（電話六三九番）

最高滋養 フェロール
「フエラトーゼ」代用に創製せる新輸入品
高滋養劑にして効果本品に及ぶもの無し
各病院推奨の御用品にして其美味は如何な藥嫌ひ婦人小供方にも飲み安し

定價 大壜 廿日分 壹圓七拾錢 中壜 十日分 壹圓 試用 三日分 貮拾錢
本舗 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛 振替口座大阪九一一九番

コレラ其他の悪疫に對する唯一の豫防法は腸胃を強健にするに在り如何なる病菌も健全の胃中には生存する能はざればなり。ゴルフは多量のヂアスターゼを含有し胃腸を強壯にし又食後に之を用ふれば胃病を忘るゝの效能なり
二十錠、四十錠入一圓、大人一日分の定價
市内及全國有名藥店にて發賣す
發賣元 東京市日本橋區室町三丁目十番地 ……株式會社

營業品目
罐詰 乾物 海産物 雜貨 清酒 穀物 茶
漆器 家具 文房具 紙 荒物 金物 農具 石炭 石油 陶磁器
清酒 洋酒 日本 京城 ……
蒲團 中綿 小間物 鐵鍋 火鉢 箱 ビツツ
本店 仁川新町 津田 支店 仁川宮町 津田 支店 京城本町 津田



りんびよう ばいどく 專門藥房
吾が社は天下に名の有る、りん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にても…良藥であるとの評判を得て居ります…
京城南大門通…
製法に間斷無く改良を加へて行くからであります…詳細は本月拾日の京城日報…
振替京城四六七番 ドラッグ商會

商況 下關期米特電
大阪期米（十四日）後場寄付十四圓五十錢△中限寄付十四圓六十五錢△先限寄付十四圓九十錢
▲後場の手振
▲能く買ふ
▲現物界